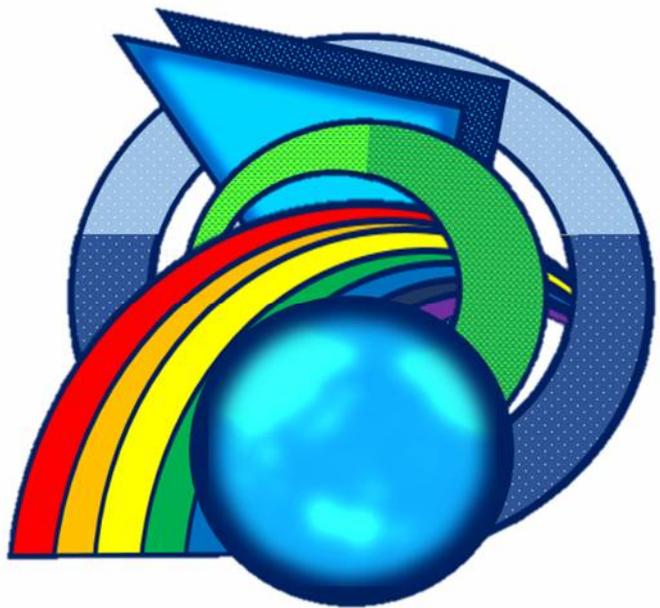


参 考 資 料 Ⅱ

教 材 研 究

の

と び ら



福島県教育庁県北教育事務所

目 次

「主体的・対話的で深い学び」の実現へ向けて
～各教科等の「見方・考え方」を働かせる教材研究の在り方～

「主体的・対話的で深い学び」を実現する教材研究の重要性	1
教師の「教材研究」とは	1
「教材分析」について	
1 教材の教育的価値を明らかにする（目標分析）	2
2 教材のしくみを明らかにする（構造分析）	
◇ 単元のしくみを分析する	4
◇ 題材や作品のしくみを分析する	6
3 教材の関連を明らかにする（関連分析）	8
「教材解釈」について	
4 児童生徒の実態をとらえる（実態把握）	10
「単元構想」について	
5 単元の目標達成に向けて展開を計画する	12
「授業構想」について	
6 各時間の目標達成に向けて授業の手立てを工夫する	14
「学習評価」について	
7 目標達成のための評価規準・評価方法を計画する	16
「見方・考え方」を働かせる国語科の教材研究	18
「見方・考え方」を働かせる社会科の教材研究	20
◇ コラム：作品分析のために（国語科）	22
◇ コラム：学習課題とまとめの整合性（数学科）	23
「見方・考え方」を働かせる数学科の教材研究	24
「見方・考え方」を働かせる理科の教材研究	26
「見方・考え方」を働かせる体育科の教材研究	28
「見方・考え方」を働かせる保健の教材研究	30
「見方・考え方」を働かせる英語科の教材研究	32
「見方・考え方」を働かせる道徳科の教材研究	34
◇ コラム：教材を吟味するために（道徳科）	37
自立活動の指導のための個別の指導計画	38
〈参考文献・引用文献〉	40

「教材研究のとびら」のイラストの見方

 **重要な「ポイント」**
教材研究する上で、特に注目してほしいことを示しています。

 **授業者の思考**
教師の「教材研究」に対する問題意識や気づき等を示しています。

 **教材研究の基礎・基本**
教材研究する上で、押さえておきたいことを示しています。

 **教材研究のパレット ～授業の要素を組み立てる～**
「見方・考え方」を働かせる授業とするために、大切な要素（目標分析、単元構想、実態把握等）を示しています。それぞれの要素を構成する段階を示しています。

 **教材研究のキャンパス ～授業全体を描く～**
授業全体をイメージし、要素同士のつながりを考えます。深い学びのある授業とするために、学習課題や発問の言葉の吟味・精選を図る等、授業をより具体化する段階を示しています。

「主体的・対話的で深い学び」の実現へ向けて ～各教科等の「見方・考え方」を働かせる教材研究の在り方～

「主体的・対話的で深い学び」を実現する教材研究の重要性

「学習指導要領解説 総則編」では「主体的・対話的で深い学び」を次のように整理しています。

「主体的な学び」

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる学び

「対話的な学び」

子ども同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えることを通し、自己の考えを広げ深める学び

「深い学び」

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう学び

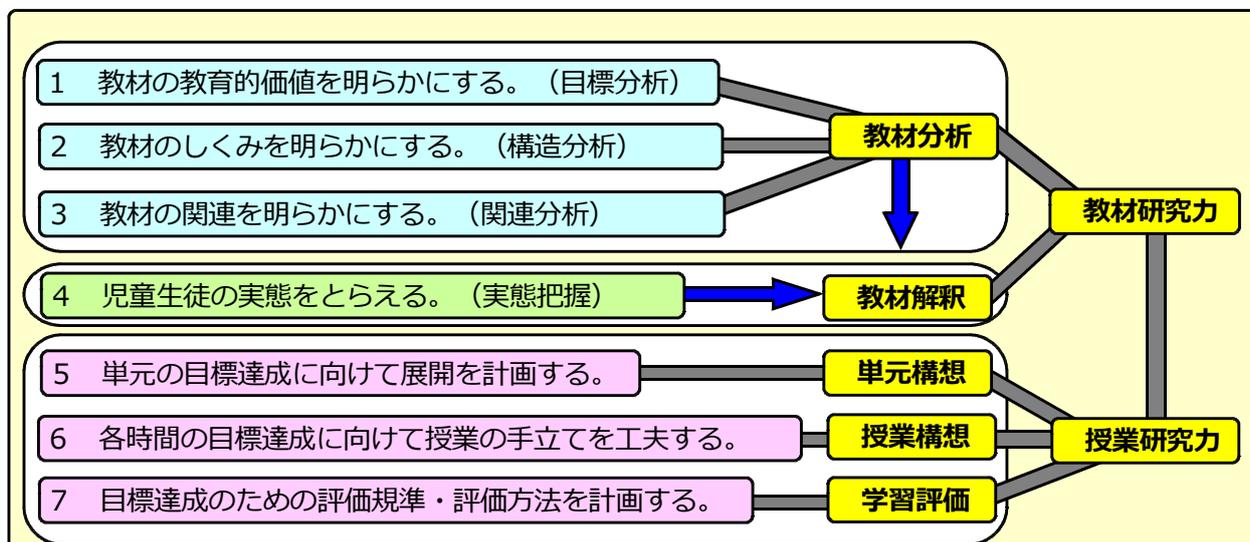
「主体的・対話的で深い学び」とは、これまでの実践を否定し、新たな指導方法を取り入れなければならないということではありません。現在行っている授業を上記の視点でとらえ直し、単元や題材のまとまりの中で指導内容を関連付け、これまでの学習活動の質を向上させることが求められています。

その際、深い学びの鍵となるのが、「各教科等の特質に応じた『見方・考え方』を働かせる」ということです。そのため教師は、子どもが本来もっている「見方・考え方」が働くように、「何に着目させるか（視点）」「どんなことが考えられるか（思考）」を促すための働きかけ（発問や問い返しなど）を行い、「深い学び」を実現することが必要です。

そのために、欠かせないことは、**教師の「教材研究」**です。教師の役割は、授業中、子どもの考えを発表させて終わりではありません。授業を行う前に深い教材研究を行い、どの考えを取りあげて子ども同士の考えをつなぎ、どのように授業のねらいを達成させて深い学びを築いていくかという授業構想を描くことが必要となります。ですから深い学びの鍵は、子どものもつ「見方・考え方」を働かせるための教師の「教材研究」に深く関わっています。

教師の「教材研究」とは

では、「教材研究」とはどのようなものでしょうか。福島県教育庁義務教育課編「学習指導の手引き—第三次改訂版—」を参考に整理してみます。



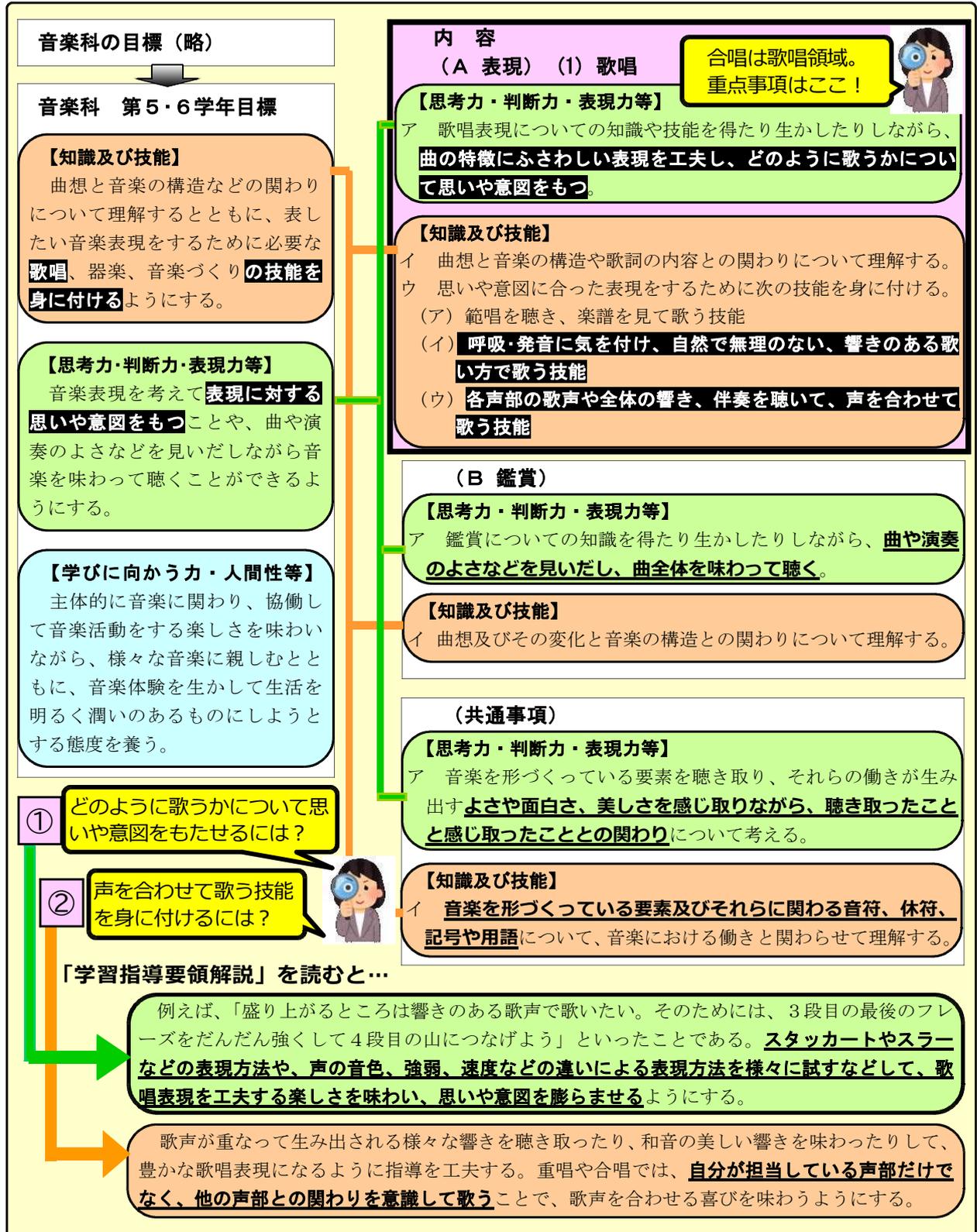
「教材分析」について



1 教材の教育的価値を明らかにする（目標分析）

教材の教育的価値を明らかにするとは、学習指導要領の目標・内容を踏まえて、身に付けさせたい学力を具体的にとらえることです。

では、具体的にどのように教育的価値（目標）を分析していくのか、小学校音楽科6学年の三部合唱（「ふるさと」）を例に挙げてみます。学年目標と内容から、身に付けさせたい力とは何かを明らかにし、指導のポイントをつかむことが大切です。



① どのように歌うかについて思いや意図をもたせるために



目標の達成にせまる手立てを考えよう。

♩=76~84 文部省唱歌／高野辰之 作詞／岡野貞一 作曲／浦田健次郎 編曲

mf

1 う さ ぎ お い し か の や ま は て
 2 い か に ろ お い ま す ち の ち は し
 3 こ こ ろ ぎ しまし は た し

こ ぶ な つ り し か の か が わ
 つ つ が の つ な ひ し や か と も が ら きん
 い つ の な ひ に か か え ー ら

p

ゆ め は い ま も め ぐ ー り ー て
 あ め に か ぜ に つ ー け る ー て ー も
 や ま は あ お き ふ ー る ー さ ー と

p

ゆ め は い ま も め ぐ ー り ー て
 あ め に か ぜ に つ ー け る ー て ー も
 や ま は あ お き ふ ー る ー さ ー と

mf

わ す れ が た き ふ る さ と
 お も い が た き ふ る さ と
 み ず は い き ず よ き ふ る さ と

mf

わ す れ が た き ふ る さ と
 お も い が た き ふ る さ と
 み ず は い き ず よ き ふ る さ と

【歌詞をもとに】

○ 歌詞の情景をイメージする。
 ・教科書の写真や映像を生かす
 ・懐かしい日本の故郷、思い出
 ・遠く離れて住む父母、友達

○ 歌詞の意味を捉える。
 「つつがなしや」（無事だろうか）
 「いかにいます」（どうしているか）

○ 歌詞のまとまりを捉える。
 「兎追いしかの山、小鮒釣りしかの川」
 「志を果たして、いつの日にか帰らん」

【曲をもとに】

○ 速度に着目して聴く。
 ♩=76~84はゆったりめ

○ 強弱記号に着目して聴く。
 ・p、mf、クレシェンド、デクレシェンド

○ 旋律の重なりに着目して聴く。
 ・3段目→異なる音程・リズムの追いかけ

○ 音の高低に着目して聴く。
 ・音が上がる→盛り上がる
 ・音が下がる→落ち着く

ゆったりと落ち着いた感じで歌いたい。
 美しい日本の故郷の情景を伝えたい。
 強弱など曲に盛り上がりをつけたい。

② 声を合わせて歌う技能を身に付けるために

高音のパート

ソプラノ

メゾ・ソプラノ

低音のパート

アルト

○ 合唱の形態を考える。
 ・2部合唱の部分
 (高音パートと低音パート)
 ・3部合唱の部分
 (ソプラノ・メゾ・アルト)

○ 各パートの音をしっかりと取る。
 ・パートリーダーの選出
 ・各パートのCDの準備
 ・キーボードなどで音取り

mf

わ す れ が た き ふ る さ と
 お も い が た き ふ る さ と
 み ず は い き ず よ き ふ る さ と

mf

わ す れ が た き ふ る さ と
 お も い が た き ふ る さ と
 み ず は い き ず よ き ふ る さ と

○ 縦の和音をしっかりと合わせる。
 ・1音ずつ各パートの音を重ねて
 ○ フレーズごとに和音を合わせる。
 ・「ふるさと」の部分に他のパートの音と合わせて

パートの音が重なるごとに響きが充実して完成度が高くなる。
 互いの声の響きを聴き合い、和音の美しい響きを実感させたい。

2 教材のしくみを明らかにする（構造分析）

単元のしくみを分析する

教材のしくみを明らかにするとは、**教材の教育的価値（目標）に照らし合わせて、教材（単元）に含まれている指導事項を具体的にとらえること**です。
「教材」を通して、児童生徒に「何を学ばせるのか」を3つの柱に即して捉えていきます。

学習指導要領、学習指導要領解説を読み解くと、この教材がどのようなしくみで構成されているかとらえることができます。では、小学校第5学年社会科「産業と情報」を例に見てみます。

この教材では何を指導すればいいのかな？

理解させることは？
考えさせることは？



- (4) 我が国の産業と情報との関わりについて、学習の問題を追究・解決する学習を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
- (ア) 放送、新聞などの産業は、国民生活に大きな影響を及ぼしていることを理解すること。
- (イ) 大量の情報や情報通信技術の活用は、様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解すること。
- (ウ) 聞き取り調査をしたり映像や新聞などの各種資料で調べたりして、まとめること。
- イ 次のような思考力・判断力・表現力等を身に付けること。
- (ア) 情報を集め発信するまでの工夫や努力などに着目して、放送、新聞などの産業の様子を捉え、それらの産業が国民生活を果たす役割を考え、表現すること。
- (イ) 情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、産業における情報活用の現状を捉え、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。

(小学校学習指導要領 社会科 第5学年(4))

解説には調べ方やまとめ方についても示されています。



社会科は理解させる(A)の部分と、(A)をもとに考えさせる(B)の部分で構成されています。



CHECK

目標を整理すると理解させることと考えさせることが分かりやすくなります。
解説には、見方・考え方を働かせるための着目点や問いの例も載っています。

この単元でとらえること

(A) この単元における視点と「問い」の例→とらえさせる「知識」

とらえる	《思考・判断・表現》 視点	問い	知識	役割
産業と情報 放送、新聞などの産業の様子 放送、新聞などの産業が多種多様な情報を収集・選択・加工して提供していることや、販売、運輸、観光、医療、福祉などに関わる産業が、販売情報や交通情報等の大量の情報やインターネットなどで情報を瞬時に伝える情報通信技術などを活用していること	情報を集め発信するまでの工夫や努力 ・ ニュースや天気情報、交通情報など多くの情報を収集し、意図をもって、分かりやすく伝えるよう編集・加工し、テレビやラジオ、新聞、インターネットなどの情報媒体を通して広く国民に伝えている放送局や新聞社などに従事する人々の工夫や努力	情報をどのように集めているか どのように選択・加工・整理して国民に伝えているか	・ 放送、新聞などの産業は国民に正確な情報を分かりやすく速く伝えるために多種多様な情報を収集し、選択・加工している ・ 社会の出来事をより多くの国民に伝えるためにインターネットなど様々な情報媒体を活用している ・ 国民は放送、新聞、インターネットなどの様々な情報媒体から必要な情報を収集している	役割
	情報の種類 ・ 販売情報、気象情報、交通情報など産業が活用している情報の種類	その産業ではどのような情報を集めているか	・ 多様で大量の情報を情報通信技術で瞬時に収集・発信し、それらを活用することで産業が変化し発展している ・ 国民がコンピュータや携帯電話などの情報通信機器を利用することにより、いつでも、どこでも様々なサービスを楽しみ、生活が向上している	役割
産業における情報活用の現状	情報の活用の仕方 ・ 産業が情報を集める際の対象 ・ 情報活用の目的や方法 ・ 情報を活用する場面	情報をどのように活用しているか	※その際、高度に情報化した社会においては、自他の個人情報の保護や適切な扱いが必要であることなどに触れることが大切	

調べる	映像 新聞 産業に従事している人への聞き取り 各種資料(映像、新聞記事) コンピュータ	情報を読み取る	図表	まとめる	その他
	我が国の産業と情報の関わり	情報を集める			情報活用が十分に行われていなかった頃の状況と現在の状況を比較して、情報の生かし方の工夫や国民の利便性の向上などを図表にまとめる



どの教科等においても、教材を用いて、何を学ばせるのかをとらえることが大切です。教科等によってはその特質から、他の学年との系統や他領域との関連、前時とのつながりを考慮して教材のしくみをとらえる場合もあります。

指導案には**教材観**として提示される部分になります。

(例)

- ・この教材には〇〇という価値がある。
(教材に含まれている指導事項)
- ・児童生徒はこれまで〇〇ということを学習してきた。
(既習のとらえ)
- ・これからこういう学習につながっていく。
(系統、発展)
- ・この時期に学ばべき学習である。
(適時性、発達段階)

【解釈】

身の回りには多くの情報があり、私たちの暮らしや産業にとっても役立っている。情報は双方向性があり、発信側も受信側もその利点を生かしながらも、正確な情報活用に努めなければならない。また、情報技術の進歩で、各種産業が変化、発展してきている。様々なサービスにより生活が便利になってきており、私たちの安心・安全な暮らしに役立っている。

(B) (A)でとらえた知識をもとに、比較や関連付けを図ることで考えさせること

事実	考える	表現
【関連付け】 放送局や新聞社などから発信される情報と自分たちの生活	放送や新聞などの産業が国民生活に果たす役割	文、議論
【関連付け】 情報を活用した産業の変化や発展と人々の生活の利便性の向上	情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割	文、議論

この教材をストーリーとしてとらえてみると…

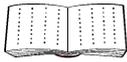
※ 読み解くことで見えてくるキーワード(とらえさせたいこと)

- ・短時間
- ・正確さ
- ・わかりやすさ
- ・生活に必要な不可欠
- ・目的に応じた使用
- ・受信、発信(双方向)
- ・冷静な判断
- ・公平・中立・客観
- ・安心・安全な暮らし
- ・情報通信技術
- ・サービス
- ・他産業とのつながり
- ・情報リテラシー
- ・情報モラル

ここは絶対に取り上げなければならないところだな。どの順番に進めたら分かりやすいかな？ 導入はどんな風にしたら効果的かな？

※ こうした読み取りをもとに単元構想を進めていきます。





題材や作品のしくみを分析する

題材や作品のしくみを分析するとは、言葉と対象、言葉と言葉の関係をおさえて、作品の構成や構造を明らかにし、学習目標にあわせて「何を」「どのように」授業に生かしていくか分析することです。では、小学校国語科4学年の物語教材「ごんぎつね」を例に作品のしくみを分析してみます。

4学年の学習目標は、「場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の様子や気持ちの変化、情景などについて叙述をもとに読む」ことです。教材文を読み、場面の移り変わりや登場人物の気持ちの変化の表れている箇所に線を引いたり、読み取った内容（教師の解釈）を書き込んだりしていきます（参考P.22）。登場人物の気持ちはどうして変わったのか（理由）、何がそうさせたのか（根拠）など、前後の叙述と関連させて分析していくと、具体的に指導したい事項が見えてきます。

六 ごんと兵十の悲劇	四・五 思いを寄せるごん	三 つぐないをするごん
<p>ぐつたりと目をつぶったまま、うなずきました。</p> <p>青いけむりが、まだ、</p> <p>「ごん、おまえだつたのか、いつも、くりをくれたのは。」</p> <p>「ごん、おまえだつたのか、いつも、くりをくれたのは。」</p> <p>「ごん、おまえだつたのか、いつも、くりをくれたのは。」</p> <p>「ごん、おまえだつたのか、いつも、くりをくれたのは。」</p>	<p>いどのそばにしゃがんで 二人の話を聞こうと思つて、ついていく 兵十のかげぼうしをふみふみ行きました。</p> <p>「こいつはつまらないな。」 「おれが、…持つていつてやるのに、おれにはお礼を言わないで、…引き合わない」</p> <p>（加助） 「神様のしわざだぞ。」 「神様にお礼を言うがいいよ。」 「うん。」</p>	<p>「まず一つ、いいことをしたと思ひました。」 「思い込みの満足」</p> <p>「自分で苦労して集めた物」</p> <p>「おれは、盗人と思われて、…ひどい目にあわされた。」</p>
<p>その明るく日も くりを持って、兵十のうちへ 出かける うちのうら口から、こっそり 中へ入る</p> <p>物置でなわをなつていた ふと顔を上げる 「ないだ、うなぎをぬすみやがったあのごんぎつねめが、またいたずらをしに来たな。」</p> <p>「ようし。」 なやにかけてある火なわじゆうを取つて、火薬をつめ ごんを、ドンと、うちました。 兵十はかけよつてきました。 うちの中を見ると、土間に、くりがかためて置いてある のが目につきました。</p>	<p>月のいい晩 道のかた側にかくれて、じつとして 二人の後をつけていきました。「関心」 びくつとして、小さくなつて立ち止まり いどのそばにしゃがんで</p> <p>「くりや松たけなんかを、毎日、毎日くれる」 「おれの知らんうちに置いていく」 「うそと思うなら、あした見に来いよ。」</p>	<p>次の日には、 山でくりをどつさり拾つて、 「これはしまった。」 「気が付き」 「かわいそうに、…あんなきずまで付けられたのか。」</p> <p>物置の方へ回つて、入り口に、くりを置いて帰る くり くりばかりでなく、松たけも</p>

火縄銃を落とした兵十は、どんなことを考えていただろう？

兵十は、ごんが栗や松茸を持ってきた理由を分かっていたらどうか。いたずらぎつねと思いつけてきた気持ちが変わっていく兵十の心の中を考えさせたい。

「神様にお礼を言うんじゃあ。引き合わない」と思ったのに、なぜごんは明るく日も栗を持って行ったのか？

「引き合わない」と一度落ち込んだのに、償いを止めないごんの心の変化を考えさせたい。自分がしているつぐないが神様のお陰にされてしまうごんの心の葛藤について考えさせたい。

「いわしをうら口から投げ込む」から、「くりを物置の入り口に置いて」に変わったのはどうしてだろう？

ごんの償いの質が変わっていった理由について考えさせたい。償いをした「もの」「場所」「行動」に着目して考えさせたい。

課題意識をもち、多様な読みに触れる



日常の読書は、個人的な読みで終わります。しかし、授業で行う読みは、叙述をもとに個人の読みを伝え合い、学級全体で深め合い、多様な読みに触れることに意義があります。「いたずらばかりしていたごん」が、なぜ「償いをするごん」に変わったのか。どうして、兵十に心を寄せていったのか。課題意識をもち、叙述をもとに学級全体で考えることが、読むことの必要感につながります。

課題解決のために作品全体を読む



文学的文章の読みの課題として、「場面内にとどまる読み」が指摘されています。学習のねらいが「場面の移り変わりに注意して登場人物の様子や気持ちの変化を読む」ことであれば、前後の場面と関連させて読むことは、必須のことです。ある場面の叙述を切り口として、前後の場面の登場人物の様子や気持ちと比較させながら読むことが必要です。

場面	二 後悔をするごん	一 いたずらをするごん
ねらい 場面の移り変わりに注意しながら登場人物の様子や気持ちの変化、情景について、叙述をもとに読む。	<p>昔 中山という所 おしろ 少しはなれた山の中「村人から付かず離れず」 ひとりぼっちの小ぎつね</p> <p>←「おれと同じ、ひとりぼっちの兵十か。」 [同情・親近感] いわし：かごの中から、五、六びきのいわしをつかみ出す 兵十のうちのうら口から、いわしを投げこんで [盗み]</p> <p>「兵十のおつかあは、うなぎが食べたいと言ったにちがいない。…そのまま、おつかあは、死んじゃったにちがいない。…うなぎが食べたいと思いが、死んだんだろう。…あんないたずらをしなけりやよかった。」 [思い込み反省]</p> <p>その晩 あなの中 「死んだのは、兵十のおつかあだ。」</p> <p>十日ほどたって うちのうらを通る（お菌黒、髪すき） ↓ 「村に何かあるんだな。」 兵十のうら（大勢、よそ行き、表の竈） ↓ 「ああ、そう式だ。」 「兵十のうちのだれが死んだんだろう。」 お昼すぎ 墓地 六地藏のかげ 「死んだのは、兵十のおつかあだ。」</p>	<p>秋 二、三日降り続く雨 ↓ 外へ出られなくて、穴の中にしゃがむ 雨が上がる ↓ ほっとしてあなからは出る [開放感] 空はからつと暗れていて、もずの声がきんきん響く 小川の堤 見つからないように…じつとのぞいて ←「兵十だな。」</p> <p>ちよいと、いたずら [軽いノリ] [悪知恵] 魚をつかみだしては…下手の川の中をめがけて投げこむ うなぎ ↑ 「うわあ、ぬすとぎつねめ」 にげて…あなの外の草の葉の上のせておく</p> <p>ぼろぼろの黒い着物 萩の葉が…へばりつく 何を探し…かけていく [貧困・実直] どなりたてる</p>
ごん	兵十	

ごんが、償いをしようと思いだめたのは、なぜだろうか。

いたずらをやめて償いをしようと思いをし理由を考えさせたい。
ごんは「～にちがいない」「～だろう」と考えるが、それは事実か考えさせたい。

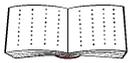
「ぬすとぎつねめ」と言われて、ごんはどう思っただろう。

「ちよいと、いたずら」のつもりが、「ぬすとぎつね」に思われたごんのお気持ちを考えさせたい。
兵十は最後まで「ぬすと」と思い込んでいたことと結び付けたい。

どうしてごんはいたずらばかりしたのだろう。村人はどう思っていたのだろう。

「いたずらばかり」→ひとりぼっちのため村人に注目されたい、近づきたいという気持ちがある。ごんのいたずらが、ますます村人を怒らせて離れていくことを考えさせたい。

読み取らせたいこと



3 教材の関連を明らかにする（関連分析）

教材の関連を明らかにするとは、**教材の系統性や順序性、他教科との関連を分析して、指導事項のつながりを具体的にとらえること**です。

では、具体的にどのように教材の関連を分析していくのか、中学校国語科3学年の古典教材（「おくのほそ道」）を例に挙げてみます。

	小 中学校第1学年	中学校第2学年	中学校第3学年
系 統	<p>国語科「古典」</p> <p>【単元目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 古典の文章（文語文・古文）を読み、興味や関心をもってその世界に触れる。 ○ 仮名遣いに注意したり、リズムを味わったりしながら音読し古典の文章に読み慣れる。 <p>「いろは歌」「百人一首」「竹取物語」</p> <p>【単元目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中国の古典に由来する言葉が今も生活の中に生き続けていることを知る。 ○ 故事成語を繰り返し音読し、漢文特有の言い回しに読み慣れる。 <p>「矛盾」</p>	<p>【単元目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 作者の四季に対するものの見方や感じ方に触れ、自分が感じる四季の趣と比べる。 <p>「枕草子」</p> <p>【単元目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 古典の文章を朗読してその表現に慣れ、作品を読み味わう。 ○ 登場人物の行動に着目し、作者のものの見方や考え方に触れる。 <p>「徒然草」「平家物語」</p> <p>【単元目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 漢詩特有の言葉遣いや調子を生かして読み味わう。 ○ 漢詩に歌われている情景を想像し、昔の人の心情に触れる。 <p>「春暁」「絶句」「春望」</p>	<p>【単元目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 和歌に表れた昔の人の心情や情景を読み取る。 ○ 和歌の効果的な表現や語句の使い方を読み味わう。 <p>「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」</p> <p>【単元目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史的背景などを想像しながら、作者のものの見方や感じ方を読み取る。 ○ 文語文を表現のしかたや文体の特徴に注意して読み味わう。 <p>「おくのほそ道」</p>
関 連	<p>社会科「歴史」</p> <p>《武士の台頭と鎌倉幕府》</p> <p>【単元目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 武士が次第に勢力を広げたことを戦乱に着目して考察し、表現する。 <p>奥州藤原氏、源義経、金色堂</p>	<p>《幕府政治の安定と元禄文化》</p> <p>【単元目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 徳川綱吉の政治の特色を理解し文学や浮世絵の作品などからこの時期の文化の特色を理解する。 <p>松尾芭蕉、俳諧、奥の細道</p>	<p>前の学年の学習内容と関連はないか。</p> <p>他の教科の学習と関連はないか。</p> 

「学習指導要領解説」を読むと…

古典作品には、その背景となる**歴史的な状況**が存在する。それを踏まえた上で古典を読むことで、作品の世界をより深く、広く理解することが可能となる。また、**舞台となっている時代の様子や作者が置かれていた状況を知る**ことで、作品の世界をより現実的、具体的にとらえることになる。

【歴史的な状況・時代の様子・作者の状況】

【読み取らせたいこと】



平泉に対する松尾芭蕉の思いは？
奥州藤原氏への思いは？

かつては栄華を誇った奥州藤原氏の面影はなくなっている。当時から残っているのは、山や川だけである。自然の営みは悠久であるが、人の営みは一時的だなあ。

源義経に対する松尾芭蕉の思いは？

平家打倒のために武功を挙げ、源氏に貢献したのに、兄の頼朝に滅ぼされてしまうと、無念だったろう。

詩人杜甫が松尾芭蕉に与えた影響は？

杜甫の漢詩「春望」にも都の荒廃を嘆き、変わらぬ自然の営みのことが詠まれている。共感しただろう。

平家物語が松尾芭蕉に与えた影響は？

平家物語の冒頭にもあるように、盛者必衰の理である。勇猛な武士もついに滅びる無常の世の中である。

芭蕉が詠んだ「夏草や兵どもが夢の跡」の句に込められた思いを読み取らせたい

歴史的な状況・時代の様子・作者の状況をとらえる



平泉・高館周辺の地図

夏草や兵どもが夢の跡
卵の花に兼房見ゆる白髪かな
曾良

三代の栄耀一睡のうちにして、大門の跡は一里こなたにあり。秀衡が跡は田野になりて、金鶏山のみ形を残す。まづ、高館に登れば、北上川南部より流るる大河なり。衣川は、和泉が城をめぐりて、高館の下にて大河に落ち入る。泰衡らが旧跡は、衣が関を隔てて南部口をさし固め、夷を防ぐと見えたり。
さても義臣すぐつてこの城に籠もり、巧名一時の草むらとなる。「国破れて山河あり、城春にして草青みたり」と笠打ち敷きて、時のうつるまで涙落としはべりぬ。

国語科の系統

他教科との関連

視点：杜甫「春望」

視点：「平家物語」

国破れて山河在り
城春にして草木深し
時に感じては花にも涙を濺ぎ
別れを恨んでは鳥にも心を驚かす

祇園精舎の鐘の聲、諸行無常の響きあり。沙羅双樹の花の色、盛者必衰の理をあらはす。おごれる人も久しからず。ただ春の夜の夢のごとし。たけき者もつひには滅びぬ、ひとへに風の塵に同じ。

- 杜甫の無常観
- ・ 都の荒廃⇔悠久な自然
- ・ 杜甫の漢詩につながりを見出す

- 無常観を読み取る
- ・ 奢れる者のはかなさは消え失せる
- ・ 勇猛な武士もいずれは消え失せる

視点：義経の死

視点：奥州藤原氏の滅亡



- 《歴史との関連》
- 兄弟の戦を知る。
 - ・ 功名を挙げた義経が兄に襲われ無念の死

- 《歴史との関連》
- 奥州藤原氏の栄華と滅亡について知る。
 - ・ 教科書や資料の活用

- 松尾芭蕉が見た平泉を読み取る。
- ・ 大門、秀衡が跡、和泉が城、泰衡の跡
- ↓ 当時の繁栄はない
- ・ 田野、金鶏山、北上川、衣川
- 自然だけが残る



【作者の状況】

時のうつるまで涙落としはべりぬ

夏草や兵どもが夢の跡



重要な言葉は…「夏草」

芭蕉の「見たもの」「感じたもの」は？

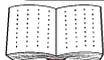
芭蕉が「見たもの」→「夏草や」生命の営みを繰り返す悠久の自然（山河・草木）
「感じたもの」→「兵どもが夢の跡」夢のようにはかない人間の行い（栄華・功名）



栄えた者の栄華も、功名をあげた勇猛な武士たちの行いも、時の流れとともに消えてしまうものだ。全て諸行無常の世の中だ。しかし、山河や草木などの自然は悠久なもので、人の行為に関係なく営みを繰り返し続けていく。

たとえ夢のようなはかない世の中でも、栄華を極め、懸命に生き、無残に果てた義臣たちの姿は美しい。先人たちへの供養・鎮魂を想い、涙は流れる。

「教材解釈」について



4 児童生徒の実態をとらえる（実態把握）

児童生徒の実態をとらえるとは、**その子がもつ知識や技能の習得状況や適性、興味や関心、生活体験や交友関係などを多面的にとらえること**です。その教科や学習内容に興味や関心があるかという情意面の実態だけでなく、具体的な知識や技能の習得状況などを個別に具体的なデータで把握し、そこから得られた情報の意味を総合的にとらえていきます。その子のよさや課題を洗い出し、その改善に向けた研究計画を立てて授業実践に生かしていくことが大切です。

では、どのように児童生徒の実態を把握して具体的に授業に結び付けるのか、小学校道徳科第6学年（主題名：「本当の親切」内容項目：B「親切、思いやり」）を例に見てみます。



授業を受ける子どもたちの、そのねらいとする道徳的価値に対する実態を把握することが大切です。集団としての特性をつかむと同時に、個々の特性をつかむ必要があります。



各教科等での「親切、思いやり」に関する学びの経験

地域のお年寄りとの交流をとおし、相手の思いに寄り添うことのよさに気付いた。

国語

社会

算数
数学

理科

生活

音楽

図画
工作
美術

家庭
技術
家庭

体育
保健
体育

外国語
活動
外国語

道徳科

総合的
な学習
の時間

特別
活動

「サボテンの花」で、サボテンの人を思いやる心に気付いていたな。



1学期に、「おばあちゃんの指定席」を学習した。人を思いやることの難しさについて、考えることができた。

1年生を迎える会では、1年生の気持ちを考えながら企画・運営していたな。



質問紙

自由記述式や多肢選択式の調査を行い、それらを記録・累積することで、実態を浮かび上がらせていきます。

事前アンケート（例）

6年 組（ ）

1. 当てはまる所に、○を付けましょう。

		している	していない
親しい人 ↑ ↓ 初対面の人	・仲のよい友達に親切にしている。		
	・同じクラスの人に、親切にしている。		
	・同じ学年の人に、親切にしている。		
	・違う学年の人に、親切にしている。		
	・近所の知っている人に、親切にしている。		
初対面の人	・スーパーなどで出会った人に、親切にしている。		

2. 学校や家庭以外で、初対面の人に、親切にもらったことはありますか。（自由記述）

3. 学校や家庭以外で、初対面の人に、親切にできたことは、ありますか。（自由記述）



観察

表面に現れる行動だけでなく、その背景を洞察します。本時であれば、「親切、思いやり」という視点から、子どもを見ていきます。



他の教師の考え

多くの教師と意見や情報を交換することにより、子どもの実態を多面的にとらえることができます。

学級集団としての特性

教師の意図

個々の実態



「導入」に生かす

質問紙より、「誰に対しても親切にすること」が難しいという実態が浮かび上がった。導入で質問紙の結果を提示し、「親切にすること」に対する問題意識を高めたい。

「発問」に生かす

「誰に対しても親切にすること」が難しいという実態を踏まえると、「難しい理由」や「初対面の人に対しても親切にすることのよさ」について、考えさせたい。

「意図的指名」に生かす

総合の地域の方との交流の際、優しく声をかけるA男の姿を見た。自分から声をかけた理由について、是非聞きたい。そして、B子から感想を引き出す。

教材解釈を踏まえた授業構想

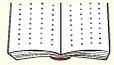


主題名 「本当の親切」
本時の目標

ロベータとジョルジュじいさんの二人の心の中を対比して考えさせることをとおして、だれに対しても思いやりの心をもつことの大切さに気づき、相手の立場に立って親切にしようとする心情を育てる。



とらえた実態を授業に生かしやすい「教材解釈」のために、座席表を活用する方法があります。発問に対する子どもの反応をイメージしながら、授業全体を構想しましょう。



教材解釈とは？

その教材が含んでいるねらいや指導内容を、どのようにして子どもが獲得しやすいようにするかの研究です。



[導入]

アンケートの結果を見て、どんなことに気付いたか。

- C 仲の良い人には、いつでも親切にできる人が多い。
- C 親しくなくなると、親切にしにくくなっている。
- C 「親切にしたい」と思っても、なかなかできないのはどうしてかな？

[展開]

ロベータがきっぱりと「息子なんです。」と言って付き添ったのはなぜか。

- C 自分のために無理をしてくれただから、今度は助けたい。
- C 身寄りがなくて困っているから役に立ちたい。

【中心発問】 ジョルジュじいさんが「ちっとも苦しくはなかったよ…幸せを感じたくらいだ。」と言ったのはなぜか。

C ロベータのことを考えていられたから。

C ロベータのために、役に立っていたから。

C ロベータのためだから、苦しくても楽しいって思っていた。

あまり親しくもない人のために、そこまでしなくてもいいんじゃないのかな。

本当は苦しかったんじゃないの。働くのをやめようって思ったことはなかったのかな。

ジョルジュじいさんの「最後のおくりもの」とは何だと思うか。

- C ジョルジュじいさんのやさしさ。
- C 相手を思うことの大切さを教えてくれた。

初対面の人に対して、相手を思って親切にしたことは、ありますか。または、親切にしようと思ったけれど、できなかったことはありますか。その理由についても、考えてみましょう。【書く活動】

- C できた体験→12、15を指名する。
- C できなかった体験→14、20を指名する。

「導入」に生かす

本時のねらいに迫るために、事前アンケートのどの部分を生かすのかを考えます。道徳的な問題に対する問題意識が高まるような働きかけを考えます。

「発問」に生かす

「だれに対しても親切にしているジョルジュじいさんの心の中についてじっくり考えさせたいから、ここを中心発問にしよう」等、目の前の子どもにいちばん考えさせたいことを中心発問にします。

ねらいに即して考えを深める

子どもの反応を複数想定しながら、それに対するゆさぶりの発問等をあらかじめ用意しておく、効果的に考えを深めることができます。

「意図的指名」に生かす

明らかになっている個の実態を、意図的指名に役立てます。「この子のこの経験や考えを、この発問の時に引き出したい！」という教師の思いが大切です。

27 エレベーターの戸を人が来ているのに、締めてしまった。	23 親切にしてもらうことが多いと言っている。	19 参観日に、校舎内で迷っていた人に教えた。
28 外国の人に道を聞かれ、知っているのに知らないふりをした。	24 スーパーで高いところにある物を取ってもらったことがある。	20 交差点で、杖をついて歩いている人がいたが助けられなかった。
29 幼稚園の泣いていて初めて会った。	25	21

座席表の活用

事前の実態把握、教材解釈のために作成した座席表ですが、授業中の子どもの発言やノート等の記述を追記する等、実際の授業の中でさらに生かすことができます。



12 1年生を迎える会の入場で、1年生の目の高さに合わせて身をかがめながら話をしていた。

13 当時初対面の29に、家のカギが開いてなくて困っているときに助けられた。

14 おばあさんがお金を落としたが急いでいたので拾えなかった。エレベーターのボタンを押した。

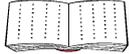
15 バスでおじいさんに席を譲った。1年生の時、大きな荷物を持ってもらった経験がある。

16 エレベーターのボタン待っていた。1年生が転んで声をか

座席表は、教材研究の時にも活用できるのですね。座席表を用意しておき、いろんな場面を使ってみたいです。



「単元構想」について



5 単元の目標達成に向けて展開を計画する

単元目標の達成に向けて展開を計画するとは、**子どもの発達の特性や学習の状況などをふまえ、その単元で身に付けたい力を「いつ」「どれだけの時間をかけて」「どのような順序で」指導するか、計画を立てること**です。その際、子どもの学習意欲が持続するように学習展開を工夫したり、子どもの実態に応じて単元の学習内容や領域に軽重を付けたりすることが大切になります。単元の終わりには「〇〇ができるようになって欲しい」という学習後の子どもの姿を見据えて、単元全体を見通し、本時で身に付けることを精選し、焦点化を図っていきます。では、どのように単元構想を具体的に立てるのか、小学校体育科3学年「鉄棒運動」を例に見ていきます。



【学習指導要領解説 体育科編「B器械運動系『鉄棒運動』」の系統表を見る】

		低学年	中学年	高学年	中学校
		運動遊び	基本的な技 (発展技)	発展技 (更なる発展技)	基本的な技 (発展技)
鉄棒運動	支持系 前方支持回転技	前 ふとん干し ツバメ 足抜き回り ぶたの丸焼き さる	前回り下り (前方支持回転) かかえ込み前回り 転向前下り (片足踏み越し下り)	前方支持回転 (前方伸膝支持回転) 片足踏み越し下り (横とび越し下り)	前方支持回転 (前方伸膝支持回転) 転向前下り 踏み越し下り (支持跳び越し下り)
		前方足かけ前転 こうもり ぶら下がり 跳び上がり 跳び下り 前に回って下りる	膝掛け振り上がり (腰掛け上がり) 前方片膝掛け回転 (前方もも掛け回転)	膝掛け上がり (もも掛け上がり) 前方もも掛け回転	膝掛け上がり (もも掛け上がり) 前方ひざ掛け回転 (前方もも掛け回転)
	後方支持回転技 後方足かけ前転 ○ 固定施設を使った遊び ・ジャングルジム ・雲梯 ・登り棒 ・肋木	補助逆上がり (逆上がり) かかえ込み後ろ回り (後方支持回転) 後方片膝掛け回転 (後方もも掛け回転) 両膝掛け倒立下り (両膝掛け振動下り)	逆上がり 後方支持回転 (後方伸膝支持回転)	後方支持回転 (後方伸膝支持回転) 後方膝掛け回転 (後方もも掛け回転)	



【文部科学省「器械運動指導の手引き」の「学習過程モデル」を参考にする】

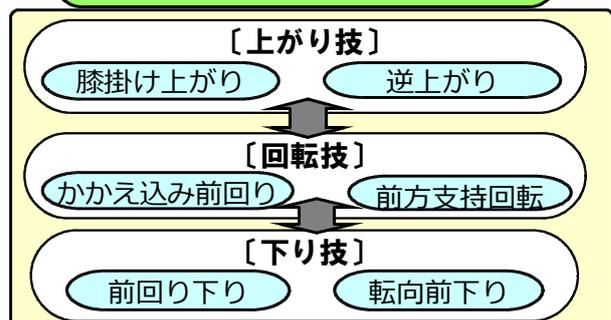
〈A校の例〉
第3学年では基本的な技を身に付ける時間を十分に確保し、第4学年では身に付けた技を工夫して行う時間を多く設定した計画例

1～4	5～6	7～9	10～14
技に関連した易しい運動遊びや基本的な技の習得を目指して運動を行う	自己の能力に適した課題をもって工夫して運動を行う	基本的な技の習得を目指して運動を行う	自己の能力に適した課題をもって工夫して運動を行う
基本的な前方支持回転技	基本的な後方支持回転技	基本的な前方支持回転技	基本的な後方支持回転技

学習の方法を考える

- ・ 鉄棒運動が得意な子→(発展技)に進む。
- ・ 鉄棒運動が苦手な子→できる技に自信をもたせ、新たな技に挑戦させる。
- ・ 教え合うポイントを明確にする。
- ・ ペアやグループで練習に取り組み、技を見合い、補助者を立てて練習する。
- ・ 補助者や補助具を減らしていく。
- ・ 学習カードを用いて学習を振り返り、自己評価・相互評価の場面をつくる。

技の組み合わせを考える



いつ？

どれだけの時間で？

どのような順序で？



時数	1	2
ね指 導 の い	○ 学習の進め方を確認し、鉄棒や固定遊具を使って振ったり回ったり、支持して跳び上がり跳び下りたりして楽しく運動することができる。	○ 既習の技を楽しんで練習するとともに、上がり技（補助逆上がりや逆上がり、膝掛け振り上がり）の動き方が分かり、友達と協力して練習することができる。
学 習 内 容 ・ 活 動	○ オリエンテーション 1 学習の流れを確認する。 2 ウォーミングアップをする。 ・運動身体づくりプログラム 3 主運動につながる固定施設運動をする。 ・登り棒、ジャングルジム、雲梯、鉄棒のサーキット 4 「まねわざ」の運動をする。 ・つばめ、ふとんほし、だんごむし、豚の丸焼き、こうもり、地球まわり ・技の組み合わせ 5 学習を振り返る。 ・カードによる自己評価、学習感想 6 整理運動を行う。 ※器械・器具の片付け方を知る。	1 学習のめあてを確認する。 2 ウォーミングアップをする。 ・運動身体づくりプログラム 3 主運動につながる固定施設運動をする。 ・登り棒、ジャングルジムのサーキット 4 「上がり技」（補助膝掛け振り上がり）の動き方が分かり、友達と協力して練習することができる。 ・三人組の教え合い ・技のポイントの話し合い ・補助具の活用（補助ポール、タオル、ゴムチューブ） 5 学習を振り返る。 ・カードによる自己評価、学習感想 6 整理運動を行う。
教 師 の 主 な 任 務	○ 主運動につながる補助運動として、固定施設を使った遊びを取り入れ、ぶら下がる、上がる、回る、下りる、振るなどの運動を行う。 ○ 技のポイントや練習の仕方が分かる資料を提示し、3人組のグループ練習に取り組みさせる。	○ 逆上りの模範演技から「成功のポイント」見つけて話し合わせる。 ○ 3人組のグループ練習に取り組みさせ、補助の仕方や補助具の使い方を教える。具体的な技のポイントを助言したり、上手に教え合っているグループを賞賛したりする。
価 値 指 導 と 夫 評	○ 個人のめあてが分かるように、技の紹介の絵図にネームカードを貼らせ、達成の状況を把握する。 ○ 学習カードを活用して自己評価させる。	○ グループで補助したり、補助具を使ったりして技が達成できたか把握する。 ○ 学習カードを活用して自己評価させたり、学習感想を発表させたりする。

○ オリエンテーションの中で子どもの実態を把握する。
・既習の運動の習得状況
・運動レディネスの把握

小学校(中学年) 鉄棒運動：実態調査(3年A組)

年	組	番	氏名	鉄棒運動											
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
3	A	1	S・A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	A	2	A・K	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	A	3	T・K	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	A	4	W・M	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	A	5	A・K	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	A	6	S・T	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	A	7	M・W	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○ ペア・グループで見合う場
教え合う場を設定する。
・技のコツの見合い
・補助者による教え合い



○ 本時で身に付けたい共通の課題を設定する。
・能力差に応じた自己課題
・新たな技への挑戦

○ 技の習得のための手立てを考える。
・技のコツ・ポイントを知る
・補助、補助具、タオル、ゴムチューブなどの活用

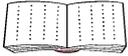
○ 技の組み合わせを考えさせる。
・上がり技－回転技－下り技
(例：逆上がり－前方支持回転－前回り下り)

○ 振り返りの場を設定する。
・学習カードの活用
・学習感想の発表

時数	3	4
ね指 導 の い	○ 既習の技を進んで練習するとともに、回転技（かかえ込み前回り、前方支持回転）の動き方が分かり、友達と協力して練習するとともに、習得した技を組み合わせ運動を楽しむことができる。	○ 既習の技を進んで練習するとともに、下り技（転向前下り）の動き方が分かり、友達と協力して練習するとともに、習得した技を組み合わせ運動を楽しむことができる。
学 習 内 容 ・ 活 動	1 学習の流れを確認する。 2 ウォーミングアップをする。 ・運動身体づくりプログラム 3 できる技の練習に取り組む。 ・「まねわざ」「上がり技」 4 「回転技」（かかえ込み前回り、前方支持回転）の運動をする。 ・三人組の教え合い ・技のポイントの話し合い ・補助具の活用（回転補助具、タオル、ゴムチューブ） 5 学習を振り返る。 ・カードによる自己評価、学習感想 6 整理運動を行う。	1 学習の流れを確認する。 2 ウォーミングアップをする。 ・運動身体づくりプログラム 3 技の組み合わせ「上がり技－回転技－下り技（転向前下り）」を考えて練習する。 ・三人組の教え合い ・技のポイントの話し合い ・補助具の活用（回転補助具、タオル、ゴムチューブ） 4 学習を振り返る。 ・カードによる自己評価、学習感想 5 整理運動を行う。
教 師 の 主 な 任 務	○ 回転技の模範演技から「成功のポイント」見つけて話し合わせる。 ○ 3人組のグループ練習に取り組みさせ、補助の仕方や補助具の使い方を教える。具体的な技のポイントを助言したり、上手に教え合っているグループを賞賛したりする。	○ 転向前下りの模範演技から「成功のポイント」見つけて話し合わせる。 ○ 3人組のグループ練習に取り組みさせ、補助の仕方や補助具の使い方を教える。「上がり技－支持回転技－下り技」の組み合わせを見合い、できばえを賞賛する。
価 値 指 導 と 夫 評	○ グループで補助したり、補助具を使ったりして技が達成できたか把握する。 ○ 学習カードを活用して自己評価させたり、学習感想を発表させたりする。	○ 「上がり技－回転技－下り技」の組み合わせ技が達成できたか把握する。 ○ 学習カードを活用して自己評価させたり、学習感想を発表させたりする。

ゴールから単元構想を考えよう！

「授業構想」について



6 各時間の目標達成に向けて授業の手立てを工夫する

各時間の目標達成に向けて授業の手立てを工夫するとは、**単元の中での本時の役割を明確にし、子どもが本時の目標を達成するための手立てを考えること**です。そのためには、授業展開について考え、発問や板書、意図的指名など、指導の技術の吟味や工夫が必要です。また、教具の開発や資料の準備において個に応じた手立てを考えることも必要です。授業をする際には、この授業の準備が綿密なほど、個に応じた指導や支援ができると考えます。では、どのように授業の構想を具体的に立てるのか、小学校国語科書写4学年の「筆順と字形」（題材「左右」）を例に取り上げます。

【学習指導要領解説 国語科編（3）我が国の言語文化に関する事項【知識・技能】「書写」】

低学年	中学年	高学年
(ア) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書くこと。 (イ) 点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くこと。 (ウ) 点画相互の接し方や交わり方、長短や方向などに注意して、文字を正しく書くこと。	(ア) 文字の組立て方を理解し、形を整えて書くこと。 (イ) 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと。 (ウ) 毛筆を使用して点画の書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書くこと。	(ア) 用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めるとともに、書く速さを意識して書くこと。 (イ) 毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くこと。 (ウ) 目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くこと。

筆順を誤る子が多いなあ。
文字の形を整えさせたいな。



【学習のねらい】

「左」「右」の筆順・画の長さ・外形を理解し、文字を整えて書く。

【文字のきまり（原理・原則）】



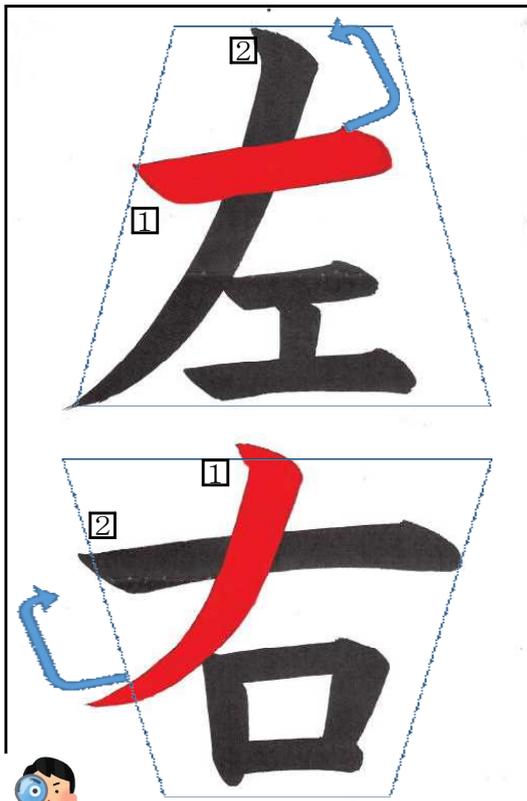
本教材は、「筆順と字形には密接な関係があり、筆順に従って書くと字形が整う」ことを理解させる教材です。

「左右」の筆順は、次の画への速やかな運筆と関係があります。そのため、

「左」→ 横画が短く、払いが長い。

「右」→ 横画が長く、払いが短い。

というきまりがあります。「左」は左払いが長いので、字形は「下に広がる形」になります。「右」は横画が長いので、字形は「下に狭まる形」になります。



【指導のポイント】

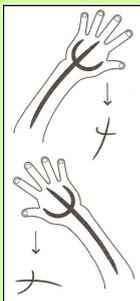
(1) 筆順

「左」…横画が先、払いが後。

「右」…払いが先、横画が後。

【絵図の提示】

「左右」の字源（象形文字）を示すことで筆順を説明することができます。



(2) 「左右」の書き方

① 「左」「右」…左払いの始筆は文字の中心。

② 「左」「右」…左払いが横画の二等分で交わる。



③ 「左」の「工」の部分は、五画目を長く。

「工」の部分は、中心線より右寄りに書く。

④ 「右」の「口」の部分は、四画目の折れを内側に書き、五画目の横画が右に出るように接する。

⑤ 「口」の部分は、中心線より右寄りに書く。

授業の構想を考える

学習課題の設定

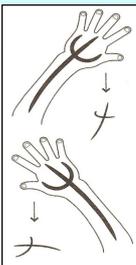
① 左
① 右



今日の課題は、「左右」です。まず、筆順を確認します。手のひらを筆の穂先と思って、大きく空書します。みんなで「一、二」と声を合わせて書きます。せーの。

「左」…横画が先、払いが後。
「右」…払いが先、横画が後。

「左」と「右」では、
1画目が違うね。



試し書き

試し書きをします。姿勢を正し（足はぺったん、背筋はピン）筆を立てて、半紙に「左右」と書いてみましょう。

左

上手く書けないな。
「左」の1画目の横画が
長いような気がする。



右

わたしの「右」も変だな。
「右」の1画目の払いが
長いのかなあ。



【学習課題】「左右」の筆順や画の長さにはどんなヒミツがあるのかな。

課題解決

ノ
エ
口



黒板に点画模型を貼りました。Aさん、課題を見て、「左」「右」を組み立ててください。画の長さにきまりが見つかりましたか？

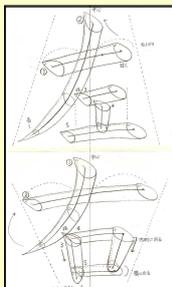
※ 必要に応じて水書板で書いて見せたり、DVD（教師用教材）を見せたりする。

「左」は横画が短い。払いが長い。
「右」は横画が長い。払いが短い。

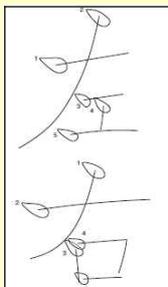


練習用紙をいくつか用意しました。自分の課題に合わせて練習しましょう。

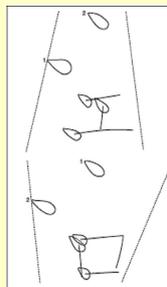
子どもの課題解決の時間（書く時間）を十分に確保しましょう。



ぼくは文字の形を整えたいなあ。カゴ書き用紙で練習しよう。



私は画の長さに気をつけたい。骨書き用紙で練習しよう。



始筆の位置をつかみたい。始筆用紙で練習しよう。



まとめ・振り返り 新たな学び

本時で何を学んだかを振り返り、自己の変容を意識させましょう。

筆の運びは、一画目から二画目に入る。だから、「左」は横画が短く、払いが長くなる。また、「右」は払いが短く、横画が長くなる。筆順と画の長さには関係があったんだね。



まとめ書き

では、筆順と画の長さに気をつけて「まとめ書き」をしましょう。

「試し書き」と「まとめ書き」と比べてみましょう。「良くなったなあ」と思うことはありますか？

筆順を守って書きました。「右」の払いが短く、横画が長くなったら文字の形も良くなりました。



次回は「左右」の文字の形のヒミツを考えていこうね。



7 目標達成のための評価規準・評価方法を計画する

学習評価は、**子どもの学習状況を適切に判断し、その評価を指導に生かすためのもの**です。教師が指導の過程や評価の方法を見直し、より効果的な指導が行えるよう指導の工夫や改善を図ることが大切です。子どものよい点や学習の状況を積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるように努める必要があります。

また、学習指導要領の改訂に伴い、学習評価の観点とは、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つになりました。国立政策研究所から「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する資料」が出され、評価規準の作成のポイントが下記の通り示されました。

評価の進め方

留意点

教科の目標から評価規準を作成する

学年の目標から評価規準を作成する

〔知識・技能〕と〔思考・判断・表現〕

学習指導要領の該当する指導事項について、その文末を「～している」と書き改めて設定する。

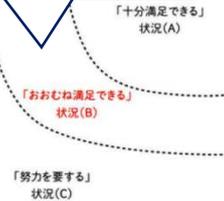
〔主体的に学習に取り組む態度〕（以下①～④を含めて設定）

- ①粘り強さ（積極的に、進んで、粘り強く…などの表現を入れて書く）
- ②自らの学習の調整（見通しをもち、課題に沿って、今までの学習を生かして…などの表現）
- ③(知識・技能)と(思考・判断・表現)の指導の重点（粘り強さを発揮して欲しい内容を入れて）
- ④具体的な言語事項を入れて（自らの学習の調整で必要になる内容を入れて）

(例)社会科

主体的に学習に取り組む態度の評価について、学習問題について予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり、見直したりして学習問題を追究し、解決しようとしている態度を評価することが考えられます。

②自らの学習を調整しようとする側面



①粘り強い取組を行うとする側面

※ 単元における観点別学習状況の評価を実施するにあたり、年間の指導と評価の計画を確認する。どの単元で、どの項目を評価していくのかという見通しをもつ。

単元の目標を作成する

教科→学年→単元のまとめり→本時…といったように作成していきます。目標と評価を同時にとらえる。これが「指導と評価の一体化」につながるんだね。



単元の評価規準を作成する

単元の目標

(1) 身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。〔知識及び技能〕(1)オ

(2) 相手に伝わるように行動したことや経験したことを基づいて、話す事柄の順序を考慮することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕A(1)イ

(3) 話し手が知らせたいことを落とさないように聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。〔思考力、判断力、表現力等〕A(1)エ

(4) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使っていると同時に、語彙を豊かにしている。(1)オ	①「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことを基づいて、話す事柄の順序を考慮している。(1)イ	①進んで、相手に伝わるように話す事柄の順序を考え、学習の見直しをもって報告しようとしている。
	②「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことを落とさないように聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。(A(1)エ)	

主体的に学習に取り組む態度は、教科によって設定の仕方が異なります。国立政策研究所の資料を参考にどのような規準で評価を行えば良いのか確認することが大切です。

「指導と評価の計画」を作成する

授業を行う

観点ごとに総括する

○ 集めた評価資料やそれに基づく評価結果などから、観点ごとの総括的评价（A，B，C）を行う。

◆社会科では「主体的に学習に取り組む態度」を以下の2つで評価。

- ①主体的に問題解決しようとする態度（「学習問題の解決に粘り強く取り組む」側面や「自らの学習を調整する」側面を評価する）
- ②よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度

(内容のまとまりの評価規準)

(単元の評価規準)

主体的に学習に取り組む態度

地域の安全を守る働きについて主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

主体的に学習に取り組む態度

- ① 地域の安全を守る働きについて予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
- ② 学習したことを基に地域の安全を守るために自分たちができようとしている。

- 1, 2を踏まえ、評価場面や評価方法等を計画する。
- どのような評価資料（児童の反応やノート、ワークシート、作品等）を基に、「おおむね満足できる」状況（B）と評価するかを考えた時、「努力を要する」状況（C）への手立て等を考えた時

7	うにすると共に、二つの単元の学習を振り返り、さらに調べるべきことを見いだすことができるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・相互連携で対処する体制 ・関係機関と地域の人々との協力で安全を守っていること ○二つの単元の学習を振り返り、地域の安全を守るための働きについて、さらに調べるべきことを見いだす。 	と警察の共通点と相違点	<p>【知-②】</p> <p>発言の内容やノートの記述内容から「消防と警察のそれぞれの関係機関の働きを比較・分類したりして、関係機関の相互の関連を考えた時、関係機関に従事する人々の活動と地域の人々の生活を関連付けて、まちの安全を守る仕事に従事する人々に共通する働きを考えた時表現しているか」を評価する。【思-①】</p> <p>発言内容やノートの記述内容から「これまでの学習を振り返り、さらに調べるべきことを見だし、見直しをもって追究しようとしているか」を評価する。【態-①】</p>
8	地域の安全を守るために、自分たちができようとする態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の安全を守るために自分ができることを選択・判断し、伝え合う。 ・既習事項の整理 ○今までの学習を振り返り、地域の安全を守るために自分たちができようすることを考え、まとめる。 	<input type="checkbox"/> ノート「今までの学習の記録」 <input type="checkbox"/> 安全宣言	<p>【思-②】</p> <p>発言内容やノートの記述内容から「連携・協力している関係機関の働きを比較・分類したり、関連付けたりして学習したことを基に地域や自分自身を守るためにできようことを考えた時選択・判断したりして表現しているか」を評価する。【態-②】</p> <p>安全宣言の記述内容から「学習したことを基に安全を守るためにできようことを考えようとしているか」を評価する。【態-②】</p>

※児童のノート記述内容から評価した場合の例

どの資料を用いて、どの観点の、どの学習状況を評価するのかの計画を立てます。網掛けで「記録に残す評価」を意識するなど、効果的・実効的な評価の工夫が必要です。

今まで地域の安全を守るためにだれが、どこで、何をしているかを調べてきた。地域の安全を守るために、多くの人々が毎日、工夫や努力をしてくれている。自分たちは多くの人に守られているが、地域の安全をもっと守るためには、自分たちにもできることがあるのではないだろうか。次はその問題を解決したい。

B

今までの2つの単元の学習状況を振り返っている。

さらに調べるべき課題を見いだしている。

以上のことから「おおむね満足できる」状況(B)と判断

※ 「努力を要する」状況(C)と判断される児童には…

例えば、「この人たちの働きだけで安全は守られるかな？」などと問うことで、自分たちにできそうなことではないか考えさせていくことが必要です。

「見方・考え方」を働かせる国語科の教材研究

小学校第3学年「自然のかくし絵」(東京書籍)



「読むこと」(説明的な文章)の教育目標の系統

	低学年	中学年	高学年
把握 構造と内容の	ア 時間的な順序や事柄の順序の内容から、こと。	ア 段落相互の関係 に着目し、 理由や事例との関係 を捉えること。	ア 事実と感想、意見などの関係の構成を捉えて要旨を把握すること。
精査 解釈	ウ 文章の中の重要な語や文を考えて選ぶこと。	ウ 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること。	ウ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けたり、論点について考えたりすること。
形成 の	オ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、 感想や考えをもつ こと。	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。
共有	カ 文章を読んだ感じたことや共有すること。	カ 文章を読んだ感じたことと、 一人一人の感じ方 など、違いがあることに気付くこと。	カ 文章を読んだ感じたことと、自分の考えを共有し、自分の考えを広げること。

作品のしくみ(文章の構成)

まず、教師自身が要約文を書いてみましょう。



まとめ	保護色の限界		問い	例 3	例 2	例 1	問い	話題提示	鑿
⑫	⑪	⑩ ⑨	⑧ ⑦	⑥	⑤	④	③	② ①	
生き続ける ずいぶん役立つ	動いたときは、 食べられる	ほご色は役立つ じっとしているかぎり	このほかにも どんなときでも?	ゴマダラチョウ幼虫 周りの色が変わると 体の色も黄色	トノサマバッタ ほご色になる 場所にすむ 草むら→緑色 枯れ草→褐色	コノハチヨウの羽 裏はかれ葉色 木の葉そっくり	どのようにするか?	セミ、バッタ 見つけにくい色 身をかくす ほご色	大事な言葉
ほご色は昆虫が生き続けるのに、役立つ ている。ほご色は自然のかくし絵だ。	しかし、動いたときには、鳥やトカ ゲに食べられてしまう。	じっとしているかぎり、ほご色は身を かくすのに役立つ。	どんなときでも身を守ることができ るか?	 ゴマダラチョウの幼虫は、周りの色 が変化するにつれて体の色を変える。 (葉が黄色↓体の色も黄色)	 トノサマバッタは、体の色が ほご色になる場所にすんでいる。 (草むら→緑色、枯れ草→褐色)	 コノハチヨウの羽の裏は、かれ葉色 閉じると木の葉そっくりで見分けが 付かない。	昆虫はどのようにして身をかくすのか?	周りの色と見分けにくく、敵から身を かくすのに役立つ色を「ほご色」とい う。  セミやバッタを見つけたことがある	書いてあること(要約)

要約する「目的」を意識させる

学習指導要領には「目的を意識して」要約することが重要と書かれています。単に文章を短くまとめればよいのではなく、「何のために要約をするのか」が大切です。「教材文の内容を相手に端的に説明する必要があるから短くまとめる」といった目的意識が大切です。

教材文の知的な面白さを味わわせる

説明文の面白さは、題材の面白さだけでなく、筆者の論理的な説明の展開や考え方を知る面白さもあります。筆者の考えに対して自分の考えをもち、情報を補って読む面白さもあります。図書館の本や資料を読み、調べることが発展的な学習につながります。



授業の展開例

学習課題の設定

表面



前の時間は、⑤トノサマバッタや⑥ゴマダラチョウの幼虫の「身のかくし方」について、書かれてあることを短くまとめました。

⑦⑧の段落は、どんなことが書かれてありましたか？

れい 3 ⑥ ゴマダラチョウのよう虫は、まわりの色がへんかすると、体の色もかわる。エノキの葉が黄色↓体も黄色	れい 2 ⑤ トノサマバッタは、体の色がほご色になる場所をえらんですんでいる。緑色のバッタ↓草むらかつ色のバッタ↓かれ草	れい 1 ④ コノハチョウの羽のうらは、かれ葉のような形と色をしている。とじると木の葉そっくり	問い ③ こん虫はどのようにして身をかかすのか？	はじめ ② まわりの色と見分けにくく、てきから身をかくすのに役立つ色を「ほご色」という。	① 自然のかくし絵 文: 矢島 みのる 県北 教子
--	--	---	--------------------------------	--	---

裏面

まとめ(筆者の意見) ⑫	役立たないとき ⑪	役立つとき ⑩ ⑨	問い ⑧ ⑦

⑦「このほかにも、身をかかす昆虫はたくさんいる」ということ。

⑧「どんなときでもてきから身を守れるのか？」ということ。

筆者が説明したいことは、⑦「このほかにもたくさん昆虫がいるよ」ということかな。それとも⑧「どんなときでも身を守れるの？」ということかな。

【学習課題】 **こん虫は、どんなときでも身を守ることができるのだろうか。**

「どんなときでも守れるのか？」ということ。

課題解決

CHECK 「キーワード」に着目させるための問いかけをしましょう。



⑨⑩の段落は、「ほご色が役立つ」場合について書かれてあります。どんなときに役立つのですか？

「じっと休んでいる」とき。



「じっとしているかぎり」「身をかかすのに役立つ」。



※ 教材文に立ち返り、子どもが見つけた「大事な言葉」にサイドラインを引いたり、線で囲んだりして印を付けます。「大事な言葉」を使い、自分の言葉で補って文章を短くまとめさせます。

⑪の段落は、「ほご色が役立たない」場合について書かれてあります。どんなときは役立たないのですか？

「動いたときなど」鳥やトカゲに食べられる。



⑫段落は、「まとめ」です。筆者は何が言いたかったのかな？

「ほご色は、どんな場合でも役立つとはかぎらないが、てきにかまれながら生きつづけるのに役立っている。」



まとめ・振り返り 新たな学び

要約が書けましたね。山折り・谷折りで折って、豆本を完成させましょう。



今回は、図鑑で「身をかかすこん虫」を調べて、空いているページにまとめよう。

まとめ(筆者の意見) ⑫ ほご色は、こん虫が生き続けるのに役立つ。ほご色は自然のかくし絵だ。	役立たないとき ⑪ 動いたときなどには、鳥やトカゲに食べられてしまう。	役立つとき ⑩ ⑨ じっとしているかぎり、ほご色は身をかくすのに役立つ。	問い ⑧ ⑦ こん虫は、どんなときでも身を守ることができるのだろうか？
--	---	--	---

「見方・考え方」を働かせる社会科の教材研究

小学校第6学年「天皇中心の国づくり」(東京書籍)

教材のしくみ

天皇を中心とした政治が確立した

大陸文化の摂取

聖徳太子が法隆寺を建立し、小野妹子らを遣隋使として隋に派遣することにより、政治の仕組みなど大陸文化を積極的に摂取しようとしたことなどが分かる



大化の改新

中大兄皇子や中臣鎌足によって政治の改革が行われたことや、天皇中心の新しい国づくりを目指したことなどが分かる



大仏造営

聖武天皇の発案の下、行基らの協力により国家的な大事業として東大寺の大仏が造られ、天皇を中心とする政治が都だけでなく広く全国に及んだことや、聖武天皇の願いにより鑑真が来日し、仏教の発展に大きな働きをしたことがわかる



小学校の歴史の学習では通史として事象を網羅的に取り扱うものではないことに留意する必要があります。

歴史の学習では人物の働きを通して学習を進めていくことが大切です。



聖武天皇

天皇として活躍した時代がきわめて不安定な世の中であったことを具体的にイメージさせ、仏教の力で国の平安を得ようとしたことと関連付けてとらえさせる。大仏からは、仏教の慈悲を国の隅々まで行き渡らせ、国の平安を得ようとした天皇の思いを想像することができる。大仏造営について、その規模や材料の量、働いた人数、造り方などを具体的に調べさせることを通して、大仏の巨大さを実感させるとともに、国家的な大事業を成し遂げた聖武天皇の力についてもとらえさせることが重要である。聖武天皇に関わる文化遺産としては東大寺の他に正倉院があるが、ここには中国の他、ギリシアやローマなどにつながる品物も多く、当時の大陸との関わりを考えさせることができる。



単元構想

年	主なできごと	
	仏教が大陸から伝わる	
	蘇我氏の勢力が強まる	
574	聖徳太子が生まれる	
589	◆隋が中国を統一する	
593	聖徳太子が天皇を助ける役職につく	
603	冠位十二階を定める	
604	十七条の憲法を定める	試行
607	遣隋使を送る 法隆寺を建てる	
618	◆隋がほろび、唐がおこる	
622	聖徳太子がなくなる	
630	遣唐使を送る	
645	中大兄皇子らが蘇我氏をたおす	
694	最初の本格的な都(藤原京)がつくられる	
701	新しい法律を定める	体制
710	都が平城京(奈良県)に移る	
724	聖武天皇が位につく	心

「天皇中心となるきっかけ」

「天皇中心へ向けた展開」

「天皇中心」の確立

単元の導入ではどんな視点をきっかけにしようかな？

☞ 前の時代とのつながりから入ることもできる。

古墳ができた後、日本はどのようになっていったのだろうか？

☞ 単元の着地点から入ることもできる。

どうしてこんな大きな大仏を造ることができたのだろうか？

☞ 人物から入ることもできる。

大仏を造った聖武天皇はどんな人なのかな？ どうしてこんな大きな力をもっていたのかな？ どんな国作りを目指したのかな？



授業の展開例

社会的見方・考え方のどの視点に着目させて本時の学習を進めていくかをとらえ、視点を意識した学習展開を考えていくことが大切です。
「見方・考え方」の視点の例は中央教育審議会:「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)別添資料3-5」(H28.12.21)に例示されています。



働かせたい「見方・考え方」の視点

学習課題の設定

例えば…
大仏と小学生を比べて提示



どのくらいの大きさなのかな？

何年くらいかけて造られたのかな？



導入では「どんな」「どのくらい」といった事実を押さえる視点から概要をとらえさせ、社会的事象に対する児童の興味・関心を高めていくことが大切です。

なぜこんな大きな大仏を造ったのかな？



単元(本時)を貫く課題となるよう資料を精選し、提示の仕方などを工夫していきましょう。課題への予想を十分させてから、時代の特徴を概観できるようにしていきましょう。

※ 児童とのやり取りの中で、疑問点を引き出していきます。

課題の解決

造り方

どのように造られたのだろう？

何をどのくらい使って造られたのか？

材料・量

そうとう高い技術がないとできなかったと思うよ。

渡来人がここでも大きな影響を与えたのかな？

この行基っていう人も何か関係しているのかもしれないよ。

行基

行基は大仏造りにどのように貢献したのだろう？

国分寺・国分尼寺の全国的な広がりは大仏と何か関係があるのかな？

国分寺・尼寺



※ 「造り方」「材料・量」等については参考例です。
解説や教科書をもとに見方・考え方の視点を設け、児童がとらえた事実(知識)を関連付けたり、総合したりしながら、課題解決につなげていくことが大切です。

※材料や人員、年月をかけて大事業を成し遂げることができた権力

※行基がいたからこそ、なし得ることができた大事業

※大仏を頂点として全国の国分寺・国分尼寺に仏の加護が行き渡るようにするという天皇の思い

国を挙げての事業

【大仏建立の詔】

天下の富や権勢をもつ者は私である。その力をもってこの像を造ることはたやすいが、それでは私の願いを叶えることができない。この事業に加わろうとする者は、強制ではなく誠心誠意の自発的な気持ちで参加してほしい。たとえ1本の草、ひとにぎりの土でも協力したいという者がいれば、無条件でそれを許せ。役人はこのことのために人民から無理やり取り立てたりしてはならない。

まとめ・振り返り 新たな学び

大仏建立が大変な事業だったにも関わらず、権力者である聖武天皇が命令で強制するのではなく、国民の協力のもとで造営を進めたのはなぜだろう？

国民みんなの心が聖武天皇と思いを同じにして、国の平和・安定に向けて1つになることを願った。



児童の言葉で、具体的に、実感を伴う理解につながるよう授業づくりを行うことが大切です。



コラム：作品分析のために…

物語の教材研究って、
どうすればよいのかなあ？



作品分析で大事なことは、その教材を通して、どのような資質・能力を身に付けるかということです。例えば、小学校第5学年の国語科の教科書（東京書籍）には、宮澤賢治の「注文の多い料理店」が掲載されています。では、その教材を通してどんな力を身に付けるのでしょうか。

そこでまず、小学校学習指導要領解説の国語編第5・6学年の「C 読むこと」を見てみます。

すると、文学的な文章では、「**イ 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること**」「**エ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること**」と掲げられています。そして、その指導の方法として、「登場人物の人物像を具体的に想像するためには、**登場人物の行動や会話、様子**などを表している複数の叙述を結び付け、それらを基に**性格や考え方**などを総合的に判断すること」と書かれています。

そこで教師は、教科書のコピーを取り、教師自身が「登場人物の**行動や会話、様子**など」にサイドラインを引いて、「どんな**性格や考え方**が読み取れるのか」「どんなことを子どもたちに読み取らせたいのか」を書き込んでみるのが大切となります。具体的には、次のようなものです。

題名・容に対する注文（二重の意味）

注文の多い料理店

ねらい
。登場人物の相互関係、心情について描写をもとにとらえる。
。人物像、物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたり
宮澤賢治

登場人物

二人のわかいしんしが、すっかりイギリスの兵隊の形をして、ぴかぴかする鉄ぼうをかっいで、白くまのような犬を二ひき連れて、**場面** だいぶ山おくの、木の葉のかさかさしたところ、こんなことを言いながら、歩いておりました。

A「せんたい、こちらの山はけしからんね。鳥もけものも一びきもいやがらん。何でもかまわなから、早くタンターンと、やってみたいもんだなあ。」**道楽で動物を殺生する、横柄な口調**

B「鹿の黄色な横つばらなんぞに、二、三発お見まい申したら、ずいぶん痛快だろうねえ。くるくる回って、それからどたつとたおれるだろうねえ。」

それはだいぶの山おくでした。案内してきた専門の鉄ぼううちも、ちよつとまごついて、どこかへ行ってしまったくらい山おくでした。**不思議な世界の前ぶれ**

それに、あんまり山がものすごいので、その白くまのような犬が、二ひきいっしょに目まいを起こして、しばらくうなづいて、それからあわをはいで死んでしまいました。

二は張り合えり競なりする**性格**。入が疑問をもつともう入が打ち消しちゃう。だから、扉の言葉を疑念ともたず進んでしまった、といえる。

A「実にぼくは、二千四百円の損害だ。」**打算的、大の死の金額** ☆ 都会の軽薄な成金の二人、動物の命を軽んじて二人、非人情な二人の**性格**

B「ぼくは二千八百円の損害だ。」**見栄張り、金額で張り合う** とくらえさせたい、と、も一人が、くやしそうに、頭を曲げて言いました。

初めのしんしは、少し顔色を悪くして、じつと、も一人のしんしの、顔つきを見ながら言いました。**閃** **B**がくやしなのは何か。

A「ぼくはもうもどろうと思う。」**A**が顔色を悪くし、**B**の顔つきを見たりした時、どんなことを考えているか。

B「さあ、ぼくもちよつと寒くはなつたし、はらはすいてきたし、もどろうと思う。」

二千四百円
損狂でいっしょに二千八百円から三百万円くらいに当たる

行動
+ 会話
+ 様子
+ 性格

教師は、登場人物の「行動や会話、様子」から、どのような「性格や考え方」が読み取れるのかを考えておくことが大切です。子どもたちとつくる授業のゴールを想定し、そこに至るための発問や問い返しなどを考えてみましょう。





コラム：学習課題とまとめの整合性

学習課題を踏まえたまとめはどのようにすればいいかな？



授業では、ねらいの達成に向かい、学習課題を解決するための活動を経て、まとめをしていきます。「どのような力を身に付けさせるのか」が明確になっていれば、まとめがぶれることはありません。身に付けさせたい力をしっかりと想定して授業を行うことが大切です。単元を通して学習課題とまとめの言葉を具体的にイメージしてみましょう。

単元名：一次方程式 2節（中学校1学年 数学科）

◇小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 事象の中の数量やその関係に着目し、一元一次方程式をつくることができる。 ② 簡単な比例式を解くことができる。	① 一元一次方程式を具体的な場面で活用することができる。	① 一元一次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ② 一元一次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

◇学習計画

	ねらい	問題場面	CHECK		評価
			学習課題	まとめ	
1	算数で学んだ方法と比較することなどを通して、方程式を活用して問題を解決する方法を理解できるようにする。	合唱コンクールの交代の時間を等しくするとき交代の時間は何分間とることができるでしょうか。	交代の時間は、何に着目しどのように求めるのか。	具体的な問題の中の数量やその関係に着目すれば、一次方程式をつくることができる。	知①行動観察
2	方程式を個数と代金に関する問題など具体的な場面で活用することを通して、問題の中の数量やその関係に着目し、一元一次方程式をつくるできるようにする。	1個90円のオレンジと1個140円のりんごを合わせて15個買いました。そのときの代金の合計は1800円でした。オレンジとりんごは、それぞれ何個買いましたか。	りんごの値段はどのように表されるか。	オレンジを x と表せば、りんごは $(15-x)$ と表すことができる。	知①行動記録 小テスト 思①行動観察
3	方程式を過不足の問題など具体的な場面で活用することを通して、方程式を活用して問題を解決する方法を理解することができるようにする。	折り紙を何人かの子どもに配ります。1人に4枚ずつ配ると9枚足りません。また、1人3枚ずつ配ると15枚余ります。子どもの人数と折り紙の枚数を求めてみよう。	どの数量関係に着目すると立式できるか。	折り紙の枚数を2通りの式で表し、立式すればよい。	思①行動観察
4	速さに関する問題を解決することを通して、方程式を用いて求めた解が問題に適しているかどうかを考え、説明できるようにする。	弟は家を出発して学校に向かいました。その4分後に、兄は家を出発して弟を追いかけました。弟は分速50m、兄は分速70mで歩くとすると、兄は家を出発してから何分後に弟に追いつきますか。	速さと時間の関係から方程式を作るとき、どの数量関係に着目すると立式できるか。	2通りの式で表される道のりに着目すると立式できる。	思①行動観察 小テスト
5	比例式の性質を知り、それを用いて比例式を解くことができるようにする。	ウスターソースとケチャップを2:3の割合で混ぜて、ハンバーグソースを作ります。ケチャップを120mL使うときウスターソースは何mLあればよいでしょうか。	比例式の性質を利用して、 x の値はどのように求められるか。	$a:b=m:n$ ならば $an=bm$ の関係から方程式を作り解くことにより x は求められる。	知②行動記録 小テスト

まとめを考えたから、そのまとめとなるような授業を考えるように心がけるといいですね。

「単元のゴールの姿」を具体的にイメージすることが大切です！



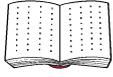
この単元で目指すゴールの姿：

日常的な事象を数学的な解釈に基づいて考察し、事柄が成り立つ理由を説明できる。

「見方・考え方」を働かせる数学科の教材研究

中学校第1学年「データの活用」(東京書籍)

関連分析



平成29年告示の学習指導要領では、小学校算数、中学校数学において統計・確率分野の内容が「データの活用」領域となって統一・充実されました。

多くの情報が氾濫する高度情報化社会では、目的に応じて情報を適切に捉え、的確な判断を下すことが求められる。小・中・高等学校の各学校段階を通じて、統計的な問題解決の方法を身に付け、データに基づいて的確に判断し批判的に考察することができるようにする必要があるのである。
 小学校学習指導要領解説・算数編 P.36

「統計的な問題解決の方法」と「批判的に考察すること」が大切



小学校

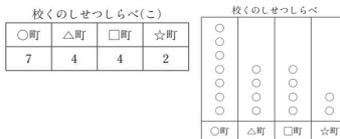
1年

・絵や図を用いた数量の表現



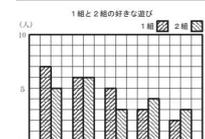
2年

・簡単な表やグラフ



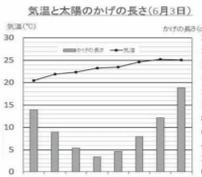
3年

・表や棒グラフ



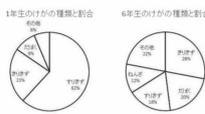
4年

・二次元の表、折れ線グラフ



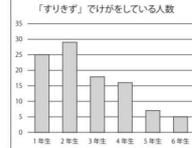
5年

・円グラフ、帯グラフ



6年

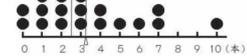
・代表値、度数分布、ヒストグラム



・統計的な問題解決の方法

・統計的な問題解決の方法

・起こりうる場合



5、6年での問題解決の方法を生かせるようにしよう。



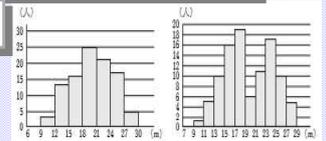
いままでどんな見方・考え方があったかな。

中学校
1年

・ヒストグラムや相対度数の必要性や意味

・表やグラフに整理すること

・確率



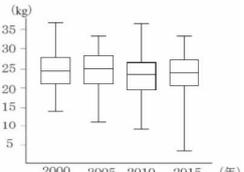
2年

・四分位数や箱ひげ図の必要性や意味

・箱ひげ図で表すこと

・確率

中学2年生男子の握力の分布



累積相対度数を箱ひげ図につなげるようにしよう。

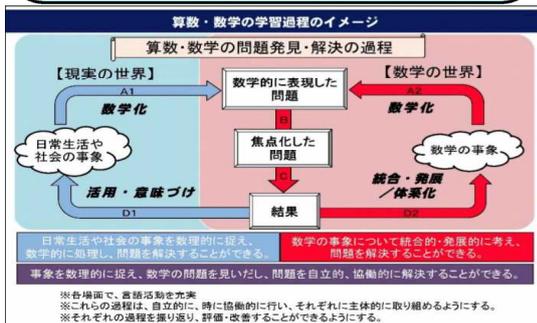
3年

・標本調査

高校

【批判的に考察すること】の要点をつかもう。

数学的活動と統計的な問題解決の方法「問題-計画-データ-分析-結論」を関連付けて授業を組み立てよう。



小1	データの個数に着目し、身の回りの事象の特徴を捉えること。
小2	データを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察して(2学年)、見いだしたことを表現すること。(3学年)
小3	目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について(多面的に捉え:5学年)考察すること。
小4	目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに、その妥当性について批判的に考察すること。
小5	目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに、その妥当性について批判的に考察すること。
中1	目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断すること。
中2	四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断すること。
中3	標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現すること。

授業の展開例

学習課題の設定

3学期の学年レクリエーションの大縄跳び大会で、クラス優勝を目指したいと思います。



先輩に聞いたら、2列か3列で行った方がいいよと教えてもらったよ。



どうすれば、どちらがよいかわかるのかな。



〔学習課題〕 大縄跳びの2列と3列どちらの並び方がよい結果が出るか、どのように考えればよいでしょうか。

問題

見通し



どんなデータがあれば分かるかな。

では10日分の練習結果を見てみよう。

本番と同じ5分間の練習結果が分かればそこから判断できそうだね。



計画

練習結果のそれぞれの平均が知りたい。



データ

他に根拠にできるものは何がある？

平均値だけでは分からないよね。



※データはあらかじめ準備しておきます。

課題解決

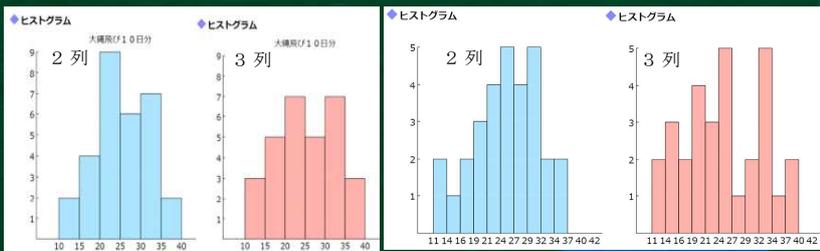
多面的・批判的に考察し判断できるようにしましょう。

発表してもらいます。



	2列	3列
個数	30	30
最小値	11	12
最大値	36	39
合計	750	750
平均値	25	25
中央値	25	24.5

分析



このヒストグラムから考えました。



階級の幅を変えてまとめました。



複数の資料から多面的・批判的に考察し判断することが大切です。根拠を明確にして自分の考えをまとめさせましょう。

どのように考えたと思いますか。

結論

最頻値を比較しても回数が多いのは3列で、ヒストグラムを見ても山が右寄りになっているので3列の方がよいのではないかと思います。



階級の幅を変えてみると、3列は左側に偏っているので2列の方がいいと思います。



※ ICTを有効に使いましょう。
このグラフはstatlookで作成しました。
(静岡大学裕元研究室HPより)



まとめ・振り返り 新たな学び



授業を振り返って、どのようなことが分かりましたか。

平均値や中央値で結果を判断するのはふさわしくない。また、同じデータでも着目する代表値によって判断が違ってくる。



目的に応じてデータを広げたり狭めたり取り出したりすることで、説得力のある説明をすることができる。



最近の記録で比較してみたら、また違うことがわかるかもしれない。



「見方・考え方」を働かせる理科の教材研究

中学校第3学年「化学変化とイオン」(東京書籍)



教材分析

中学校理科各学年で主に重視する探究の学習過程の例

- ・第1学年：自然の事物・現象に進んで関わり，その中から問題を見いだす
- ・第2学年：解決する方法を立案し，その結果を分析して解釈する
- ・第3学年：探究の過程を振り返る

理科の目標 (略)

第1分野の目標 (略)

第1分野の内容

(6) 化学変化とイオン

化学変化についての観察，実験を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 化学変化をイオンのモデルと関連付けながら，次のことを理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付けること。

イ 化学変化について，見通しをもって観察，実験などを行い，イオンと関連付けてその結果を分析して解釈し，化学変化における規則性や関係性を見いだして表現すること。また，探究の過程を振り返ること。

(ア) 水溶液とイオン

⑦ 原子の成り立ちとイオン

水溶液に電圧をかけ電流を流す実験を行い，水溶液には電流が流れるものと流れないものがあることを見いだして理解すること。また，電解質水溶液に電圧をかけ電流を流す実験を行い，電極に物質が生成することからイオンの存在を知るとともに，イオンの生成が原子の成り立ちに関係することを知ること。

(内容の取り扱い) 略

解説 (一部)

～現象を捉えやすい電解質水溶液として，うすい塩酸や塩化銅水溶液などに適切な電圧をかけ電流を流す実験を行い，陽極と陰極に決まった物質が生成することに注目させ，電解質の水溶液中に電気を帯びた粒子が存在することを理解させ，イオンの概念を形成させる。～



【ゴールからの課題設定】

何を身に付けさせればよいのか？そのために課題や教材はどうすればよいのか？

水溶液中のイオンの存在を理解させればよいのか！



見えないイオンを可視化するために，どのようなモデルが有効かしら？



探究の過程をどのように振り返らせればよいのか？



教材解釈

既習内容はどれくらい定着しているのかな？

【実態把握】レディネステストの実施
水に溶けるとは(1年)原子や分子とは(2年)
電流の流れとは(2年)電解質とは(前時)

【ICTの活用】
回答から提示までタブレット端末を使うなどの工夫が有効ですね。

「導入」に生かす → 課題の設定



授業構想

電気を帯びた粒子(イオン)をどのように可視化(モデル化)できるかな？

【ICTの活用】
微視的な粒子を可視化したり，モデルを動かして撮影したりするために，タブレット端末を活用することができますね。

【理科の見方】
実体的にとらえる

【教師の意図】「何に注目してほしいのか」
電極内の電子の存在，電子の流れモデル
水溶液中の粒子の移動，発生した物質のモデル
→水溶液中の粒子の電気的な性質のモデル化



授業の展開例

学習課題の設定



電解質の水溶液には電流が流れるのですね？

電流が流れるとき、水溶液の中ではどのようなことが起きているのでしょうか？

電流の流れとは
原子の記号
電解質の水溶液とは

【タブレット端末の活用】
レディネス提出→共有



電流の流れは「電子」の流れだから、水溶液の中を「電子」が移動してるのかな。



【学習課題】

電解質の水溶液に電圧をかけ電流を流したとき、水溶液の中ではどのようなことが起きているのか。



【ノート・ワークシートの活用】
学習課題を生徒のことで設定し、予想を考えさせて図やことばで記録させることが大切です。

課題の解決

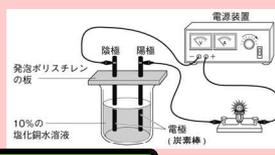


水溶液や電極に変化が起きているかよく見ましょう。



【タブレット端末の活用】撮影→繰り返し見る

【実験】 塩化銅水溶液



気泡が出ている。空気かな？



プールの水のおいがするから、塩素が出てるのかな？



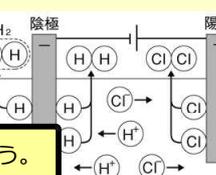
もう一つの電極は茶色い物質が付いた。予想通り銅だね。

※既習知識や日常体験を基に、実際に発生した物質が何か実感させ納得させることが大切です。水溶液の中で起きている見えない現象について、粒子モデルで考える意欲を高めることにつなげます。



水溶液の中で起こっていることや電流が流れるしくみをモデルで考えましょう。

分かりやすく説明する方法も考えましょう。



モデルを動かしながらタブレットで撮影して、説明してみよう。



電子が水溶液の中を移動するのなら、どうして銅や塩素が発生するのかな？



※生徒が十分に考えを練り上げ、電気を帯びた粒子の存在に気付くことができるように、教師がコーディネートを工夫します。さらに、まとめや振り返りができるような時間配分が必要です。



電極にできた銅や塩素の「もと」「材料」は何ですか？

それでは、なぜ原子は電極に集まったか分かりましたか。

塩化銅水溶液中の銅原子と塩素原子だよな。



磁石や静電気のように、プラスの電気とマイナスの電気(電子)で考えれば説明できるよ。



まとめ・振り返り 新たな学び

本日の学習から分かったことを書きましょう。



水溶液中で原子が電気を帯びることで、電極に引きつけられることが分かった。



【探究の過程の振り返り】
この授業で「どのように学んだか」

次の授業では、どのようにして原子が電気を帯びるのか考えていきましょう。



※学習課題とまとめの整合性を図り、構造的な板書を工夫して、思考の流れを振り返ることができるようにしましょう。

モデルを使うことで「電気を帯びた原子が移動する」と説明できることに気付いた。「電子が水溶液の中を移動する」わけではないんだな。



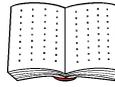
「見方・考え方」を働かせる体育科の教材研究

中学校第1学年 陸上競技「リレー」



知識・技能の系統

特性について（学習指導要領解説より）



体育の「見方・考え方」を働かすためには、特性にふれる中で、課題解決のための教え合いを活発にすることが大切です。

小学5・6年（P.130）	中学1・2年（P.85）	中学3年（P.92）
記録に挑戦したり、相手と競走（争）したりする楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。	記録に挑戦したり、相手と競争したりする楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい・・・。

記録に挑戦したり、競争したりすることを中心に授業を構築することが大切です。



知識の内容について（学習指導要領解説より）

小学5・6年（P.131）	中学1・2年（P.86）	中学3年（P.93）
その 行い方 を理解する	それぞれの技術で 動きのポイント があることを理解する。	それぞれの技術には、記録の向上につながる重要な 動きのポイント があることを理解できるようにする。



分かってできることが大切です。

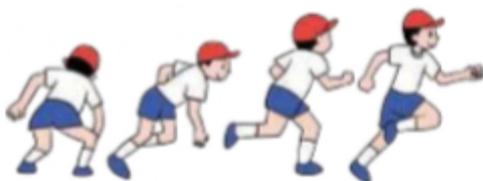
技能の内容と例示について（学習指導要領解説より）



小学5・6年（P.131）	中学1・2年（P.87）	中学3年（P.94）
リレーでは、滑らかなバトンの受渡しをしたりすること。	次走者が前走者の走るスピードを考慮してスタートするタイミングを合わせたり、前走者と次走者がバトンの受渡しでタイミングを合わせたりすること。	前走者と次走者がスピードにのった状態でバトンの受渡しをするために、次走者のスピードを十分高めること。
 <p>〈例示等〉 ○いろいろな距離でのリレー（一人が走る距離40～60m程度） ・テークオーバーゾーン内で、減速の少ないバトンの受渡しをすること。</p>	<p>中学校リレーにおける一人の距離については、生徒の体力や技能の程度、グラウンドの大きさに応じて弾力的に行い、「バトンの受渡しの技能を高める」という意図で変更されています。</p> <p>〈例示等〉 ・一人50～100m程度を目安とし、弾力的に扱うようにする。 ・リレーでは、①次走者がスタートするタイミングや②バトンを受け渡すタイミングを合わせること</p>	<p>〈例示等〉 ・一人50～100m程度を目安とし、弾力的に扱うようにする。 ・リレーでは、次走者はスタートを切った後スムーズに加速して、スピードを十分に高めること。</p>

動きのポイントの具体的なしくみ

①について



タイミングを合わせて次走者がスタートする。スタートマークを見て、スタートするためには、**目線を下げておくことが大切である。**

②について



①次走者は「ハイ！」の合図で手を後ろに出す。
②前走者は手が出たのを見てからバトンを渡す。次走者は的になるように腕を動かさない。
合言葉「ハイ！ 出た！ ポン！」



例示から、子どもの問い(困り感)を引き出すと、「学びたいこと」と「教えたいこと」(分かってできる)の整合性が図られた課題を設定することができます。そして、生徒の気付きを大切に取り上げ、共有し、課題解決につなげましょう。



指導過程は「主運動→課題の焦点化→課題解決→主運動→振り返り」が効果的です



授業の展開例

学習課題の設定

まず1回目のレースを行います →



1回目のレースが終わって何か困っている人はいますか？

バトンパスがうまくいけばタイム縮むよ。一発で渡したいよね。



渡すときにスピードも出てるし、渡すタイミングが難しい...



みなさん、話してくれた人たちの困っている気持ちわかりますか？

はい。バトンをタイミングよく渡してタイムを縮めたいです。



【学習課題】 どうしたらタイミングよくバトンが渡せるだろう？

課題解決



気づきを共有し、課題解決（実践の場）に生かしましょう。

渡すときに、何かタイミングを意識している人いますか。



「ハイ」の声と同時に渡しています。



それだと一瞬だから難しくて渡せないんだよ。



偶然に、うまくいく時はあるけど...



なるほど。同時は難しいんだね。違うタイミングの人いますか。

ぼくは「ハイ」と言って受ける人の手が出てから渡しています。



ぼくもそこを狙って渡しています。



みなさん、AさんやBさんの言っている意味が分かりますか。

要するに、受ける人の手が目的になるから、手が出てからあわてずに渡せばいいということだと思います。



バトンを受ける人も腕を動かさなくてしっかりのをすることが大事だと思います。



※ここで、動きを再生させたり、タブレットで確認させたりすることが大切です。

そうするとバトンを渡すための教え合うポイントはようになりますか。



①受ける人の手が出てから、そこを狙って渡しているか。②受ける人は手を止めて目的をつくっているか。まさに「ハイ！ 出た！ ポン！」のタイミングです。



よし、早速練習をやってみよう。

※この後、チームごとに練習し2回目のレースに取り組む。（実践は十分な時間を確保しましょう。）

まとめ・振り返り 新たな学び



できるようになったり上達したりしたことを自覚し、次の学習への意欲をもつことができるようにしましょう。



今日の学習で分かったこと、できるようになったことは何か、学習カードにまとめましょう。新しく困ったことがあった人はそれも書きましょう。

受ける人の手が出てからだと少し安心してバトンを渡すことができました。



渡すときに近づきすぎるといふか、つまってしまう感じがしました。

友だちからアドバイスをもらって、タイミング良く渡すことができました。



「共生」の視点から、みんなが楽しめる（運動が得意であっても不得意であっても、技能レベルが低くてもそのレベルで楽しめる）授業を行いましょう。



小学校では新たに「運動が苦手な児童への配慮の例」が【学習指導要領解説】の中に示されました。指導の参考になると思います。

「見方・考え方」を働かせる保健の教材研究

小学校第5学年「けがの防止」(東京書籍)



「見方・考え方」を働かせるためには 学習内容、ねらいを明確にとらえ、子どもの思考を活発にするような授業をつくるのが大切です。

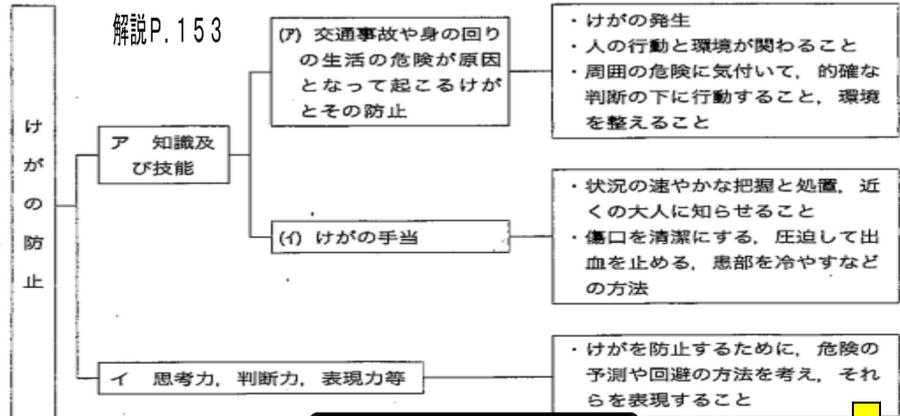
「見方・考え方」を働かせるとうけれど？



教材のしくみ(学習内容、ねらいを明確にする)



右図は学習指導要領解説・体育編「けがの防止」の知識及び技能、思考力、判断力、表現力等の内容構成図です。しくみが、分かりやすくまとまっています。この構成図と知識及び技能の例示をもとに教科書とすり合わせながら、その時間ごとのねらいをしっかりとらえましょう。



1時目 事故やけがの原因

(けがの発生 人の行動と環境がかかわること)

◆事故やけがはいくつかの原因が関わり合って起こる

2時目 学校や地域でのけがの防止

(周囲の危険に気付いて、的確な判断の下に行動すること、環境を整えること)

◆自分の地域の環境整備に目を向けられるようにする

3時目 交通事故の防止

(周囲の危険に気付いて、的確な判断の下に行動すること、環境を整えること)

◆自分の地域の交通事故防止の環境整備に目を向けられるようにする

4時目 犯罪被害の防止

(状況の速やかな把握と処置、近くの大人に知らせること)

◆犯罪被害を防ぐ地域の取り組みに目を向けられるようにする

5時目 けがの手当

(傷口を清潔にする、圧迫して出血を止める、患部を冷やすなどの方法)

ここでは知識だけではなく技能の評価も求められる。



子どもたちが、「見方・考え方」を働かせるには身近な生活や経験と関連を図ることも大切です。



アンケート等を活用するのも有効です。



教材のしくみ(働かせたい思考を明確にする)

この「例示」と授業スタンダードを関連させて、「見方・考え方」を働かせた深い学びにつなげます。



【例示】(解説P.155)

- ・人の行動や環境、けがの手当の仕方などから、けがや症状の悪化の防止に関わる課題を見付けること。
- ・自分のけがに関わる経験を振り返ったり、学習したことを活用したりして、危険の予測や回避の方法、けがなどの適切な手当の方法を考えたり、選んだりすること。
- ・けがの防止について、けがや症状の悪化の防止のために考えたり、選んだりした方法がなぜ適切であるか、理由をあげて学習カードなどに書いたり、友達に説明したりすること。

健康や安全に関する原則や概念に関わって、子どもが生活経験に基づいたり、これまでに習得した知識を活用したりしながら、考えたり話し合ったりする授業をつくりましょう。

※保健の学習で「見方・考え方」を働かせている姿

- 身の回りやふだんの生活を振り返るなどして、健康の課題、分からないことに気付いている。
- 子どもの生活経験に基づいたり、調べたり、習得した知識を活用したりしながら、考えたり話し合ったりして課題解決している。
- 学んだことを自分の生活につなげようとしている。

なるほど!



自分手帳も積極的に活用し、自分を振り返るよい機会にしましょう。



授業の展開例（1時目）

学習課題の設定

男の子のけがの原因は何だと思いますか？

休み時間終了間際、男の子はあせって教室に戻ろうとしたとき、ぬれたところで滑って、けがをしてしまいました。



ぬれていて、すべったからだだよ。バケツもじゃまになってる。

早く教室に戻りたくて走っていたからだよ。

休み時間が終わりそうで、あせっていたからだよ。

たくさんあって何が原因がよく分かりません。



〔学習課題〕 けがの原因はいったい何だろう？



課題解決



気づきを共有し、課題解決（実践の場）に生かしましょう。

では、キーワードをもとに二つに分けると考えやすいかな。

「バケツ」と「ぬれている」が同じで「あせっている」と「走っている」が同じかなと思います。

どうしてそう分けたのかな？

あせったり、走ったりしていることは、「自分でやっていること」だからかな。

バケツが出しっぱなしやぬれていることは「周りの様子」だと思います。



いい視点で分けましたね。それらを「人の行動」と「周りの環境」といいます。

では「人の行動」と「周りの環境」どちらが原因なのでしょう？

走らなければいいと思うので、なんとなく、「人の行動」かなと思います。

それもあつけれど、一瞬の間に人の行動と周りの環境が同時に重なっているから全部関係していると思います。

やっぱり、人の行動と周りの環境が同時に関係しているから、けがをすと思いました。

なるほど。そうだね。

みなさんも同じような経験がありますか？

ハイ！図工の時です。

あるある。やっぱり、休み時間かな。

※この後、アンケート等をもとに、自分たちの生活場面で考える時間を取ります。

（考えを深めるために十分な時間を確保しましょう。）

まとめ・振り返り 新たな学び



分かったことや気付いたことを自覚し、次の学習への意欲をもつことができるようにしましょう。



今日の学習で分かったことやなるほどと思ったことを書きましょう。新しい疑問がある人はそれも書きましょう。

事故やけがは「人の行動」だけ「周りの環境」だけではなく、関わり合って起こることが分かりまし

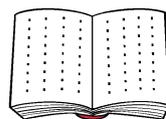


学校以外についても考えてみたいです。下校の時の安全はどうなんだろう。

学校の中には思った以上に、気を付けなければならない場面があることが分かりました。

「見方・考え方」を働かせる英語科の教材研究

中学校第2学年 Unit 5 Universal Design (東京書籍)



目標分析 (中学校学習指導要領解説 外国語編より)

【目標】

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、(中略) コミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

学習指導要領の目標及び内容、生徒の実態を踏まえて教材解釈をし、単元で身に付けさせたい力を明確にします。



← English Compass で調べてみると、「言語活動」についてこう書かれています。

言語活動 「実際に英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う」活動	≠	理解や練習するための指導 英語を用いず、日本語だけで情報を整理しながら考えなどを形成する活動 英語を用いているが、考えや気持ちを伝え合うという要素がない活動 発音練習や歌、英語の文字を機械的に書く活動 など
区別		

【領域別の目標 (4)話すこと[発表]】には、こう書かれています。

イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。

自分の考えや気持ちを表現させることが大切です。



生徒の実態 (教材解釈)



○私たちの生活に浸透しつつあるユニバーサルデザイン (以下UD) 製品を知ることで、「すべての人にとって安全・安心な社会の実現」に向けて生徒の意識を高められるわ。
 ○「話すこと」に意欲的だから、身近な話題について話す言語活動を計画的に実施しよう。単元のまとめでは、まとまりのある内容をスピーチさせ、話す力を高めたいな。

単元構想

〈単元のゴール〉「自分のお気に入りのUDについてスピーチする。」

時間	ねらい□、主な活動○、言語活動★	知	思	態	備考
1	□単元の目標を理解する。UD商品の利点を捉える。 ★ある条件で何をするか伝え合う。「言語材料 if 等」				・ここでは記録に残す評価は行わないが、ねらいに即して生徒の活動の状況を、発言の様子やノート等への記述内容から確実に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。 ・活動させているだけにならないよう十分留意する。
2	□光太が昨夜失敗したこと及びUDとは何かについて聞き取る。 ★有名人の中で理想の友達是谁か伝え合う。「言語材料 that 等」				
3	□咲が車いす体験をして感じたことを読み取る。 ○教科書の内容理解を通して接続詞 when の用法を確認する。				
4	□自分の未来の予定について伝え合う。 ★これからの未来の予定について伝え合う。「言語材料 when 等」				
5	□光太が紹介しているUDの例を読み取る。 ○教科書の内容理解を通して接続詞 because の用法を確認する。				
6	□名前に合う漢字とその理由を説明する。 ★A L Tの名前に合う漢字を説明する。「言語材料 because 等」				
7 本時	□お気に入りのUDについてのスピーチの原稿を作成する。 ★スピーチの原稿を作成する。		○	○	・記述内容や書く様子を評価し記録に残す。
8	□お気に入りのUDについてスピーチする。 ★スピーチをする。(パフォーマンステスト) ○自己目標の達成状況を振り返り、次の課題を明確にする。	○	○	○	・ループリリック表を活用してパフォーマンステストを行い記録に残す。

授業の展開例

学習課題の設定

本時につながるスモールトークを意図的に取り入れましょう。



Look at this picture. This little girl is my daughter. She is just in front of the door of our house. But she looks sad. Why?



She is looking at the door. I think that she wants to open the door.



But she can't open it because the door knob is too high.



That's right. If the door knob is lower, she can open it.

People in a wheelchair also need the lower door.



There are a lot of UD products in our life. What is your favorite UD product? Why? Let's share them to lead a better life.

〔Today's Goal〕

Let's make a speech script about your favorite UD product.

課題解決

「快適な生活を送るためにUD製品を紹介する」というスピーチの目的を伝え、心の動く言語活動を行いましょう。



いきなり書かせるのではなく、伝えたい内容をメモさせましょう。

次に、伝えたい順番や聞き手に分かりやすい展開や構成を考えさせましょう。

「メモの例」

- ・キャップ
- ・マヨネーズやケチャップ
- ・開けるのが簡単
- ・子どもやお年寄でも簡単
- ・楽しくなる

「順番や展開・構成の工夫例」

- ・ケチャップの実物（写真）を見せる
- ・キャップが便利
- ・誰でも簡単に開けられる
- ・ケチャップで絵が描ける
- ・料理や食事がもっと楽しくなる



ペアでスピーチの練習をする際などに、分かりにくい表現を確認したり、聞き手に分かりやすい語句や表現を調べたり考えたりする活動を取り入れましょう。

Look at this. It's a ketchup.
My favorite UD product is this cap.
It is very useful.
Everyone can open it easily.
If you draw a picture with ketchup, you can enjoy cooking or eating more.

はじめが大事だよ。
Look at this.はみんなの目を見て言ってほしいな。



It's very useful because everyone can open it easily.と1文にしたらどう？



まとめ・振り返り 新たな学び

振り返りの視点を与えることは、新たな学びへの意欲付けを図る上で有効です。



メモをもとに原稿が書けましたか。次の時間、どんな点に注意してスピーチしたいですか。

メモから原稿を考えたの書きやすかった。友達のアドバイスを忘れず、聞き手を意識してスピーチしたい。



「見方・考え方」を働かせる道徳科の教材研究

小学校第4学年 主題名「相手を思う心」B 親切、思いやり 教材名「心と心のあく手」



道徳って、何を教えるのかよく分かりません。分かりきっていることを、発問してしまいます。

内容項目ごとの概要が、指導要領解説に見開きで示されています。「明確な意図」をもって、授業に臨めるようにしましょう。



発達段階を踏まえた指導の要点(ねらいとする道徳的価値の意義)をとらえる



箇条書きにすると、学習する内容について、とらえやすくなります。

○相手の気持ちや立場を自分のことに置き換えて推し量り、相手に対してよかれと思う気持ちを相手に向けること。

- ・相手の立場を考える
- ・相手の気持ちを考える …



「学年段階ごとの指導の要点」について示してあるので、「指導の系統」についてとらえることができます。

「指導に当たっては、」に続く段落に注目しましょう。



実態をとらえる

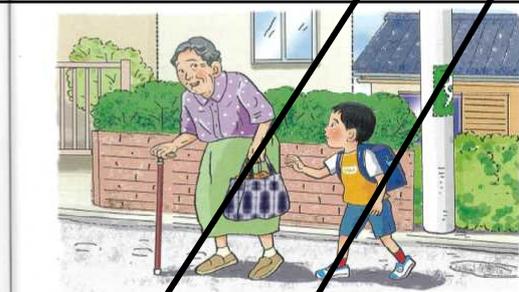
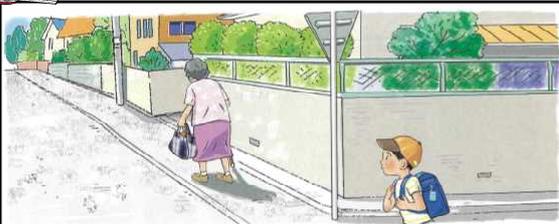


ねらいとする道徳的価値にかかわる子どもの実態をとらえましょう。(参照P.10)

第3学年及び第4学年
この段階においては、(中略)一方、ともすると他の人々の考え方や感じ方と同様であると思ひ込みがちになることもこの時期の特徴と言われている。そのため、相手に対する思いやりの心を育てることが一層重要になる。
指導に当たっては、相手の置かれている状況、困っていること、大変な思いをしていること、悲しい気持ちでいることなどを自分のこととして想像することによって相手のことを考え、親切な行為を自ら進んで行うことができるようにしていくことが大切である。



教材文の中から「指導の要点」に関わる部分を見つける



心と心のあく手

学年の「指導の要点」に線を引き、それが教材文のどの部分と合致するのを見つけて、結びます。そうすることで、本時において「考えさせたいこと」、つまり「発問のおおよその位置」が明確になってきます。



(一部掲載)

◆おすすめの教材研究スタイル◆

- ノートの上段「解説のコピー」
- ノートの下段「教材文のコピー」

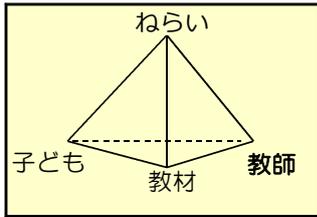


学校が終わって、ぼくは家に向かう道を急いで歩いた。お母さんのお手伝いをする約束をしていたから。家の近くまで来たとき、荷物を持ってよいしよいしと歩いている一人のおばあさんに出会った。大きな荷物ではないが、とても重そうだった。ぼくは、それを見て、知らないおばあさんだけど、声をかけようかと思った。でも、まよった。お母さんとの約束も大切だったからだ。でも、ぼくの目の前におばあさんはとても苦しそうだ。どうしようか……。すると、おばあさんが石を落とす。ぼくは思わず、「荷物、持ちます。」と声をかけた。ところがおばあさんは、

【出典：「わたしたちの道徳 小学校3・4年」文部科学省】

4

明確な意図をもつ



教師の指導の意図とは、道徳科の授業で、子どもにどのようなことを考えさせ、どのようなことに気付かせたいのかを明らかにすることであり、子どもが自己の生き方を考えていくために欠かすことのできない指導の方向性です。

〔実態〕 親切とは何かをしてあげると意識が高く、相手の気持ちを確かめずに自分本位のお節介になってしまう。

〔意図〕 親切では、相手が求めていることをするのが大切であることに気付き、相手の気持ちを考えて親切にしようとする判断力を育てたい。



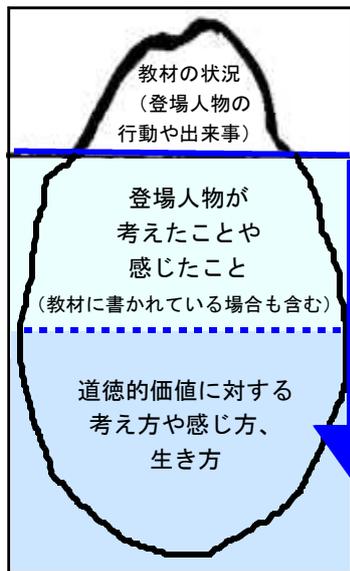
5

発問を吟味する ～中心発問からつくる～



発問を構成する際は、授業のねらいに深く関わる中心的な発問（中心発問）をまず考えます。教材や子どもの実態から、子どもがどのように考えるか予測しながら、ねらいに迫ることができるように考えます。

〔発問の氷山モデル〕



発問のレベル	指導のポイント
第1層 状況理解レベル (見えている部分)	読み取りではないので、「誰が出てきた?」「次にどうした?」と、粗筋を確認する発問をしない工夫が必要です。追いたい人物の名前を板書したり、挿絵で状況理解を助けたりする手立てが考えられます。範読前に、登場人物や状況を確認する方法も効果的です。
第2層 心情理解レベル	「教材」という共通の土俵で登場人物に自分を重ねて考えます。教室の子どもたち自身のことではないからこそ、抵抗感なく発言できるよさがあります。ただし、授業がこの「心情理解レベル」に留まらない発問の工夫が必要となります。
第3層 道徳的価値レベル CHECK 「深い学び」のカギ	登場人物の感じたことや考えたことの中に、道徳的価値についての見方、感じ方、考え方が隠れています。それらを、明らかにします。第3層を、 子どもの言葉で想定 し、その内容について話し合う授業に近付けます。さらに、自分との関わりで考える発問（自己を見つめる発問）を設定し、深めます。



「深い学び」とするために、発問を第2層「心情理解レベル」から、第3層「道徳的価値レベル」へ、さらにもう一段掘り下げましょう。



「心と心のあく手」で考えてみると?

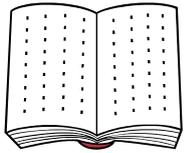


第1層 状況理解レベル	・「ぼく」は、そっとおばあさんの後ろをついて歩いた。
第2層 心情理解レベル	・おばあさんは大丈夫かな。大変だろうな。 ・ぼくは、おばあさんに何が出来るだろう。 ↓ ・ぼくはほっとむねをなでおろした。
第3層 道徳的価値レベル CHECK 「深い学び」のカギ	さらに 〔子どもの言葉で想定〕 ・「大丈夫かな」「大変だろうな」などと、相手の気持ちを考え、自分にできることをしようと思うのが思いやりだ。 〔中心発問例〕 ◎理由が分かってもなお、「ぼく」がおばあさんの後ろをついて歩いたのはなぜだろう。 〔さらに深める発問例〕 ◎相手の気持ちを考えて、行動したことはありますか。それは、どんな時ですか。



心情理解から、もう一段掘り下げる発問づくりに、挑戦していきたいです。

自立活動の指導のための個別の指導計画



- 自立活動の指導は、個々の幼児児童生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服しようとする取組を促す教育活動であり、個々の幼児児童生徒の障害の状態や発達の段階等に即して指導を行うことが基本である。(特別支援学校学習指導要領解説自立活動編より)



自立活動は「個々の幼児児童生徒の実態に応じて」
目標を立て、指導していくものです。

自立活動の指導にあたっては、「個別の指導計画」を
作成することが重要になります。

「個別の指導計画」の作成にあたって、まずは、実態把握が大切になります。この実態把握に基づいて指導目標を設定し、具体的な指導方法を考えていきます。



○実態把握から具体的な指導内容を設定するまでの流れ

例：集団の中における感情や行動を自分でコントロールする力を高めるための指導

1 個々の実態を的確に把握する

① 障がいの状態、発達や経験の程度、興味・関心、学習や生活の中で見られる長所やよさ等

- ・学級のルール等について、内容は理解しているものの実際の場面になると、自分がしたいことを優先してしまう場合が多い。
- ・教科学習の理解はよく、習得も速いが、出し抜けに答えたり、友達に伝えたりしてしまう。また、テストでは解答欄を間違えるなどのうっかりミスが多い。
- ・昆虫など小動物が好きで、校庭で見つけると捕まえてくるが、突然、友達の目の前に突き付けて驚かせる。
- ・遊びやゲームなどを面白くする工夫やルールを提案することが得意だが、唐突にルールを変えようとする傾向がある。



まずは、子どもの実態について思いつくことを記入していきます。

② 収集した情報を自立活動の区分に即して整理する。

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
	・前向きで活動的であるが、最近少しできない自分を責めるような発言が見られる。	・他者のために役に立ちたい、他者と関わりたいという気持ちは強い。	・聞くより見る方が理解しやすい。	・人や物にぶつかる、道具を使用することが苦手など、意識的に身体操作をするに困難がある。	・相手の立場を意識することが難しく、自分の興味・関心を優先してしまふ。



得た情報を自立活動の内容の6つの区分で整理します。整理に悩む場合はコーディネートハンドブックP.198を参考にしてください。

収集した情報を○○年後の姿の観点から整理

- ・保護者は、衝動的な言動により、高い理解力を生かし切ることができないことや、また、友達との距離が離れてしまうことを心配している。(心、人)
- ・叱責や失敗体験が成功体験を上回ると、学習や生活に対する意欲や自信が低下することが考えられる。(心、人)
- ・本人の特性に応じた配慮が続けられれば、中学校に行っても本来持っている力を発揮することができるだろう。(人、環)

期間を区切り、例えば、卒業までにどのような力を、どこまで育むとよいのかを想定しながら整理します。

2 実態把握に基づいて課題同士の関連と指導すべき課題の整理

- ・落ち着いた状況であれば、相手の表情や口調等から適切な判断ができることが多く、取組を認められると熱心に取り組むことから、衝動的な言動をコントロールできたときにすぐに褒めることにより、徐々に自分の言動をコントロールできるようになることが期待できる。
- ・視覚的な情報からルールを守ることの大切さを知るとともに、ルールを守ったり衝動的な言動を減らしたりすることで楽しい活動ができる経験を多く積み、自分の身体をコントロールすることで気持ちを安定させる方法を学ぶなどして、衝動的な言動を自分でコントロールする力を高める。

課題同士の関連を考えることで、課題となる行動背景、原因が予測できます。それが障がいによる困難さであり、改善・克服できる課題であれば、指導すべき課題となります。

実態把握

目標設定

3 今、指導すべき目標として

・通級による指導の場において、成功体験を実感することのできる学習環境の中で、衝動的な言動をコントロールしながら、望ましいコミュニケーションや円滑な集団参加ができる。

指導すべき課題から、本人の実態及び自立活動の指導場面によって、今、指導すべき目標を決定していきます。

4 指導目標を達成させるための必要な項目選定（6区分27項目）

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
(1) 生活のリズムや生活習慣の形成 (2) 病気の状態の理解と生活管理 (3) 身体各部の状態の理解と養護 (4) 障がいの特性の理解と生活環境の調整 (5) 健康状態の維持・改善	(1) 情緒の安定 (2) 状況の理解と変化への対応 (3) 障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲	(1) 他者とのかかわりの基礎 (2) 他者の意図や感情の理解 (3) 自己の理解と行動の調整 (4) 集団への参加の基礎	(1) 保有する感覚の活用 (2) 感覚や認知の特性についての理解と対応 (3) 感覚の補助及び代行手段の活用 (4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況の把握と状況に応じた行動 (5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成	(1) 姿勢と運動・動作の基本的技能 (2) 姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用 (3) 日常生活に必要な基本動作 (4) 身体の移動能力 (5) 作業に必要な動作と円滑な遂行	(1) コミュニケーションの基礎的能力 (2) 言語の受容と表出 (3) 言語の形成と活用 (4) コミュニケーション手段の選択と活用 (5) 状況に応じたコミュニケーション

自立活動の内容の6区分27項目のどの項目が関連しているかチェックしていきます。チェックがつかない項目もあります。

具体的な指導方法

指導内容	・小集団において、ルールを守ることや負けた時の対応方法などを身に付けるため、簡単なルールのあるゲーム等に取り組む。	・学校の中で起こる様々な場面をビデオや絵で見て、その場面を、登場人物の気持ちを考えながら演じたり、ビデオ撮影等で自分の言動を客観的に見たりしながら、適切な行動を、その理由と共に話し合う中で理解する。	・気持ちを安定させるために、身体を自分で適切にコントロールできるようにする。
場面指導	教育活動全体 時間における指導	教育活動全体 時間における指導	教育活動全体 時間における指導
評価			

【次年度に向けた引き継ぎ】

指導内容との関連を図り、線でつなぎます。

指導内容が、一つ、二つの場合もあります。記入欄が不足する場合は追加してください。

授業時間を設定して行う自立活動の時間における指導を中心とし、各教科等の指導においても自立活動と密接な関連を図る必要があります。

特別支援学校学習指導要領解説自立活動編より一部抜粋
特別支援教育センター発行コーディネートハンドブック〔2020年版〕より一部抜粋



「特別支援学校学習指導要領解説自立活動編」では、実態把握から具体的な指導内容を設定するまでの流れの例や事例が示してあります。



さらに、特別支援教育センター発行コーディネートハンドブック〔2020年版〕に記入例等が詳しく掲載されています。特別支援教育センターホームページからもダウンロードできます。

< 参考文献・引用文献 >

- 小学校学習指導要領(平成29年3月) 文部科学省
- 中学校学習指導要領(平成29年3月) 文部科学省
- 特別支援学校学習指導要領(幼稚部・小学部・中学部)(平成29年4月) 文部科学省
- 特別支援学校学習指導要領(高等部)(平成31年2月) 文部科学省
- 小学校学習指導要領解説(各編)(平成29年7月) 文部科学省
- 中学校学習指導要領解説(各編)(平成29年7月) 文部科学省
- 特別支援学校学習指導要領解説(幼稚部・小学部・中学部各編)(平成30年3月) 文部科学省
- 特別支援学校学習指導要領・学習指導要領解説(自立活動編)(平成30年3月) 文部科学省
- 学校体育実技指導資料第10集 器械運動指導の手引(平成27年2月) 文部科学省
- ふくしまの「授業スタンダード」 福島県教育委員会
- ふくしまの「家庭学習スタンダード」 福島県教育委員会
- English Compass 福島県教育委員会
- 学習指導の手引き—第三版改訂版—(平成元年3月) 義務教育課
- 「授業をつくる16の視点」 福島県教育資料研究会
- 道徳の礎(いしずえ) 福島県教育委員会
- コーディネートハンドブック〔2020年版〕 福島県特別支援教育センター
- 全国学力・学習状況調査 解説資料 文部科学省 国立教育政策研究所
- 全国学力・学習状況調査 報告書 文部科学省 国立教育政策研究所
- 「学習評価の在り方ハンドブック」 文部科学省 国立教育政策研究所
- 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する資料 文部科学省 国立教育政策研究所
- 小学校書写指導の方法(平成17年2月) 光村図書
- 初等教育資料(平成26年度～令和2年度発行分) 文部科学省教育課程課
- 中等教育資料(平成26年度～令和2年度発行分) 文部科学省教育課程課
- オンライン講座 校内研修シリーズ 独立行政法人教職員支援機構

